

新都市の公園緑地計画の基本方針についてどのように考えているかご意見をお聞かせください。

### 今までの基本方針を継続した方が良い

四季折々の樹木があり、それに伴い季節毎の植物や生き物にも触れ合う事ができ、季節を五感で感じる身近な自慢の施設です。これをぜひ継続して後世へ引き継いで欲しい。

今がとて素晴らしい状態であると思うので、木々を減らすようなことはあまり避けた方がいいと思う。

外観よいため

広い公園で、大型遊具がある公園がつくばに他に無いから。

子供の、自然に触れ情緒や自然を愛する楽しむ心を育てる成長にかかせないから。

今までの良い環境を保持し、いこいの広場であってほしい。

都内に家があり勤務先も都内ですが、つくば市に住んでいます。自然豊かで広大…、それは東京には無い、茨城の魅力。その魅力があるから、都内ではなく茨城に住んでいます。都内の公園と同じにはして欲しくありません。今のまま、緑豊かなままが良いです。

ただ、周りにカフェが都内から進出してきたアンデルセンしかないで、公園内につくばのパン屋さんやカフェを入れて欲しいです。大きなガラス窓を作って、外で遊ぶ子どもを店内から見守れるようにして欲しいです。子どもも安心して遊べます。

自然の豊かさが洞峰公園の長所なので、このままの方針が良いと考える。

自然豊かな環境は、つくばのシンボルだと思う

市民の憩いや運動の場というだけでなく、通学・通勤時の通り道にも利用されており、交通の安全確保という観点からも現基本方針は維持して貰いたい。地域のシンボルとしても中心的な役割も担っていると認識している。

また野生生物の生息域ともなっており、洞峰公園ならではの生態系も確保されているため、現基本方針の維持は必須と考える。

反面、公園全体を含む施設の老朽化も懸念として存在することは否めず、市の予算配分を確りと見極める必要がある。

特に問題ないため

水場に集まる鳥や魚など自然に触れあえる気持ちよい公園になっていますし広々としていて重い思いの過ごし方ができる貴重な公園であるとともに市民に愛されている場所なので

今までのような形で運営していただきたいです。今後は広場で定期的にマルシェなどを行うなどのイベントにも活用するとともに駐車場の増設でより活用されるようにしてはどうでしょうか。

基本方針をもとに緑を保ちつつもプライバシーを配慮した景観や、増える人口、子どもに合わせた遊びの環境を整えていければいいと思う

なにも県外からの人間に向けてのアピールは不要で増加するつくば市民のニーズに合わせたものを広めていければいいのではないかと思います

自然が豊かだから、キャンプをしている人もいるから。

犬の散歩している人が多いから。

現状の公園施設に満足しているため。

自然を生かした公園であってほしいから。

もとの自然の姿をなるべく残し、あれこれ施設を作り込みすぎないことで、スポーツをする人もしない人も豊かな時間を過ごすことができ、子どもが何もない空間をまっさらな心で楽しめる貴重な場所となっていると思うからです。一方で隅々まで手入れされているところがとてもよい公園だと思います。

基本方針をどのように見直すかにも依るが、もしこれまで保全してきた環境を変えるような形の改変が可能になる見直しは好ましくないと考える。一度でも保全の道程を閉ざしてしまうと、ここまで保ってきた物は永遠に失われる為。自然自身が自然に朽ちていく以外に、それを人の手で失わせるような事はしない方がよい。

洞峰沼の景観や生態系の保全に留意したものとなっているところがいいと思ったから。

トカイナカにつくばを象徴する公園だから。公園を取り囲む環境や雰囲気、ニュージーランドにあるハグレーパークと似ているから。

今の景観の美しさを保ってほしい

これら3つの方針が、生物多様性と人にとって居心地の良い都市空間の創出を両立させるものだと思うから。

緑とスポーツ、いいスペースとなっている

四季を感じられる。

新都市の公園緑地計画の基本方針は、長期視点で策定されたもので、つくば市民だけでなく、日本・世界全体からもてもモデルとなるべき誇るべき知的資産でもある。

方針策定の志をしっかりと理解し、趣旨を体現し、より大きなムーブメントに育てていくことが、後世に生きるものの務めだと思う。

・つくば市は車社会であることもあり、日常でゆっくり自然に触れる機会がない  
・都市計画では基本的に綺麗に整地したあと新たに樹木を植える印象なので郷土樹木が残らない  
・その土地の植生を知る機会は公園からではないかと思えます。  
・とくにこれが個人的に重要と考えておりますが、夏の暑さの軽減  
つくば市では市街地に日陰になる場所がなく歩いていると非常に暑い  
そしてつくば市の公園は元の自然を残した設計であることから、どこの公園も木陰が非常に涼しい  
子どもたちにも木陰に入るように言っています。  
その代わり冬は寒いのですが、その空気感の違い気づいたりすることで、市民は自然を感じて学んでいます

今の洞峰公園の木々の在りかたがとても気持ち良いです。大きな樹木がこんなに沢山ある公園が近くにあることが、ここに住んでる大きな理由でもあります。

動植物も多様で自然豊かなところが素晴らしいと思うためです。公園をウォーキングで利用しています。ウォーキングしている人はいつ行っても多く、また、中高生の通学路にもなっています。施設よりも自然豊かな、整備された広い公園である事が重要だと思います。

このような公園はほかになく、大人気であるから。

景観がとても美しく残していきたいから。  
洞峰沼がきれいだともっと良いが、。

自然豊かな価値のある公園を今のままで残す事が大事だと思います。  
他にはない公園だと思うからです。  
環境も良く、使ってる人達のマナーも良く人で賑わっています。  
これ以上の混雑は不要です。  
鳥達や動物達と人間が共存できる公園。  
つくば市の宝だと思います。

現状の緑と利用者の関係がりととても良いと感じているので

景観と生態系を維持しながら、公園として活用したい。

街中であって自然林の様相を呈している公園は、そこにある空気が大変美味しく、大変貴重な存在であるから、是非この環境を維持していただきたく思います。

洞峰沼の景観及び生態系の保全に留意した設計に共感するから。  
また、多くの人が自然に親しみ休養し気力健康を養うことが目的の憩いの場にふさわしいから。

市民にすばらしい環境を提供している。

継続して、維持することで、公園建設当初からの目的が果たされるから。

今の環境がすばらしいと思います。  
自然豊かで整備されていて利用しやすい公園です。  
駐車場は少ないとは思いますが。  
徒歩の利用ではその問題は感じませんが、車で行くときは不便に思っています。

子どもの集まる場所です。生活圏の中で野鳥や昆虫など、自然に安全に触れられる貴重な場所です。ピオトープを活かすことが良いと思います。ドイツ等の海外を参考にされてはどうでしょうか。

クロッキー、植物画、オリエンテーリングイベント、スポーツゴミ拾い、自然が多い屋外でのドローンやロボット大会などの家族を集めるイベント開催、それに併せてランニングコースに沿ってマルシェの開催、リタイア後や趣味でお店を起業してみたい方に週末一坪店舗として短期貸出など、つくばの二ノ宮らしい異国な雰囲気の公園を目指してはどうでしょうか。

スポーツ施設の充実はもとより自然（池や芝生 木々）のなかでゆっくり過ごせることに価値があるとおもう。幅広い年齢が集まれる現在の雰囲気を残したほうが良い。

近頃の住宅地開発により緑が少なくなってきたことに心を痛めております。つくばの並木道や樹木が素晴らしいと思いますので、公園の樹木は是非守って欲しいです。  
そして洞峰公園に行く最大の目的は景観や樹木に癒されることなので、保全の方向でご検討ください。

今の状態で動的レクリエーションの場、洞峰沼の景観及び生態系の保全のバランスがよいと思うから。

生態系に配慮した管理は気候変動や生物多様性の保全に重要だから。 今の洞峰公園は十分にきれいだから。
一度樹木を伐採したら、また現在の公園の姿に戻るのには何十年と掛かります。 キャンプ場等をわざわざ洞峰公園の中に作り、育ってきた樹木を伐採する意味が無いと思います。
何より落ち着きのある公園。手入れが行き届き、いつも感心している。学園都市が建設されたところは現在より財政的にゆとりがあったからこそ作られた公園、ゆとりと豊かさを感じ、貴重な公園と考えている。現在の環境としては、樹木の種類が多く、野鳥の種類も都市の中ではあるがかなり多くの種類を見ることができる。冬季、沼で見るカモの中にはかなり珍しい種も観察できる。現在の基本方針から逸脱することがないよう願っている。
公共施設なので、儲け重視ではなく、住民の過ごしやすい場所であって欲しい
自然共生サイトの登録などが話題となる情勢であり、自然環境保全が大切だと思うから。
たださえ、つくば市内の樹木の伐採や田畑の減少が進み里山や自然がなくなってきているので、せめて公園内の自然環境はできるだけ保全されるべきだと思う。
今の公園の雰囲気が好きだから
洞峰公園は都市の中にある大規模な公園であり、住民にとってスポーツや憩いの場として機能している。 基本方針としては今までの方針を守っていくことが望ましい。
自然環境は人類にとって最重要な資本であると考えているからです。
これまで通りの公園環境を維持してほしいです。 自由な公園はなかなかありません。 人工的に整備されすぎていたり 禁止事項が多い公園が多い中、洞峰公園にボール遊びにわざわざくる子供や犬を散歩に来る方、虫取りをしに来る子もたくさんいます。夫は洞峰公園の近くに住むようになりマラソンを始めました。つくばのフルマラソンに参加するようになりました。 同じような公園がないから皆さんわざわざ遊びに来ると聞きます。 夜は静かですし、朝は鳥達がえさを食べにきていたり、昼間はみんなの憩いの場所になっています。 どうか現状の価値を知っていただきたくアンケートに参加しました。
基本方針を見直す理由がない。
洞峰公園の景観が市の財産になっていると思うから
実は谷田川の水源地を辿るとその一つが洞峰公園付近にたどり着く。水源地としての自然環境維持は重要です。 また、民間に管理を委託した途端に、「自然の森」から「管理里山の林」に大きく変貌してしまった「高崎自然の光森」のような轍を踏まないで欲しい。
自分たちが生きる土地の本来の植生を残す場所として、誰もが自由に訪れることのできる公園は相応しいと思います。
自然環境はあまり変えずに整備することがよいと思うため。
現在の洞峰公園の自然環境下で希少生物を含むさまざまな動植物が生息している。 研究学園都市の代表的な公園として位置付けられる同公園ではこれら動植物の生態観測を行う希少な場を提供している。 このような自然環境は一朝一夕で作られるものではなく、つくば市内やその周辺をみても唯一無二の環境になっているため。
既存林を生かすことが長い目で見て森林保全、低炭素のまちづくりにつながる。 例えば洞峰公園と赤塚公園の間に東小学校があるが、ここの一角の既存林は樹種も豊富で豊かな自然を感じられるだけでなく、これまで遊び場としても活用している。それだけ環境として利用できる、ということ。 今より緑を減らさない、という方針のもと、この基本方針は変えないほうがよいと思う。
自由に散策やジョギングができて、自然を楽しめる場所。
次世代の子どもたちに残してほしい貴重な景観が楽しめる公園であるから。
現在の素晴らしい景観とプール、テニスコート、遊具がバランス良く作られていると感じています。なるべくこのままで管理して欲しいです。
秋になるとイチョウがきれいだから。 カワセミがいたから。
地域に密着した素晴らしい公園があることは、多くの子育て世帯がつくば市を選んでくれる要因になっているのではないのでしょうか。
上記三点に強く同意いたします。 生まれも育ちもつくば市なので思い入れがあり、出来るだけ緑豊かな現状を保っていただきたいと思います。

駅前や住宅地の自然、木々が伐採されているなか、公園の緑は維持して守ってほしい。
洞峰公園はつくば市の歴史的ランドマークであり、自然や生物を大切に 市民生活の象徴です。 人が成長するのと同じく、洞峰公園も成長し続けています。できるだけ 自然なカタチで管理していただきたいと思っています。
公園を市民の動線として設計されているのが学園都市の特色であると思う。新しい住宅地を作る際も意図的に公園を作り、住民の住環境 の向上を図るが、散発的なものも多い。その中で、公園と公園をつなぐ歩道を整備し、都市の中にこれだけの自然を埋め込んでいるつく ば市の設計は簡単に真似できるものではなく、商業目的の施設の充実よりもよっぽど維持管理に価値があると思う。
カーボンニュートラルを進める上で緑地保全は重要です。本公園は人の生活と調和した緑地であり、理想的な場所と思います。 海外に誇れるような日本における代表的な公園を目指してみたいと思います。
市中心部に豊かな森が残った都市はなかなかないので残して欲しいし、子供の頃から遊んだ場所でもあるので自分としてはなるべく変わ らず、ただ収支のバランスは取らなければ維持されていけないと思うので、そこがクリアできるのなら変えないで欲しい
研究学園都市建設時に掲げた理念は、理想を追い求めたすばらしいものだと思うので、できる限り継承していきたい。
研究学園都市ができる前の地形、樹木が残っており、歴史的にも保全することに意義がある
つくば市内の官舎が次々と廃止されると同時に当たり前ではあるがその敷地内で育った樹木等も伐採され、たださえ温暖化で気温が上 がるなか、官舎後周辺は更に体感温度が高くなっている気がする。そうしたなか、せめて公園は今まで通りに樹木豊かで四季折々を感じ られ癒やされる場所のままであって欲しいと思っている。
小さな頃から慣れ親しんできた公園です。広いながらも、安全でとてもよく整備されていると思います。 シンプルであり整備されすぎていない感じがとても好きです。 安全に魚の中を歩いているような感覚でしょうか。
基本的には継続した方がいいが、時代の流れや今の住民ニーズを吸い上げてほしい。
たんなるスポーツ・レクリエーションの場というだけでなく、沼を中心とした野鳥であったり、植物の生態も保全してほしい。つくば 市は自然に恵まれているが、都市の中の自然を一緒に「緑」と捉えるのではなく、丁寧に扱うことが大事だと思う。
景観が整いすぎず、広さもバランスも素晴らしい このような公園は他にあまりないつくばの街の象徴的な公園だと思う
小さいころ、幼稚園でよく行った。自然が豊かで、楽しかった。
開発が進み林や緑地が減りつつある今、基本方針を変えることなく自然を損なわない公園を保持することは、行きすぎた開発の歯止めと して重要なことと考えます。
子どものころによく利用した。環境がよかった。
今まで、県の管理のためか、時計が直らない、タータンはぼろぼろつぎはぎだらけ、野球場のフェンスは歪んでいる場所があるなど、管 理が行き届いてないのか、直ぐに対応できていないのを目の当たりにします。
あれだけ大きく、生態系豊かな公園はありません。手入れをして大きく広がりすぎないようにすることはあっても、今ある木や生物を減 らさないようにしてほしいです。
つくばは筑波研究学園都市として設計されて成り立った街であり、学園都市ができなかったら県内の他の地域同様の状態であり、今のよ うな発展はしていなかったと思う。 この個性である計画都市ならではの部分を守らないとどこにでもある郊外の衛星都市になってしまう。 昨今の公務員宿舎跡地に開発についても同様である。 先人がどのような思いでこの街を建設したか知るのに洞峰公園は初心に帰らせてくれる。それなのに学園都市模型がいつしかなくなって しまったことに、1住民として怒りを感じているくらいである。学園都市を計画した人の思いを感じられたのに。
自然豊かな公園が魅了だから。 東京から引っ越してきて、池の畔に咲いていて、自分の背丈より高いススキを初めて見たのが感動的だった。 四季折々の景色に癒やされている。
つくば市には沢山の公園がある。その中に郷土の樹木を守る目的のものがあるのもいい。
都市部にありながらまとまった面積に残る自然が、洞峰公園の魅力であり特徴。高齢者や低所得者など遠出の難しい市民にとっては気軽 にリフレッシュ出来る貴重な場所です。今以上に開発して自然環境にダメージを受けると回復させることは不可能で、洞峰公園の魅力が なくなってしまうから。
たくさんの自然が保全されて来ており、都市部の森林浴、癒しの場となっているため。
基本方針からはこの先人工的には手を入れないと読み取れたので。もしそうでは無く積極的に人工物を増やしながら生態系を守ろうとす るのなら練り直したほうがいいと思う。

現状で利用者が十分満足していると思われるから。自然の美しい、静かな、憩いの場として、このまま存続してほしい。住民の宝です。
子どもの頃はつくば市外に住んでいましたが、母が洞峰公園は良い公園だからと、年に数回連れていって来ていました。大学進学、結婚、子育てと都内におりましたが、今年つくば市に転居。何十年かぶりに公園を訪れましたが、歩く人々の穏やかな表情と、活発に遊ぶ我が子を見ながら、昔から大切に守られている緑があるからだと感じました。
つくばも開発が進み、自然が減ってきています。 つくばに本来あった生態系を残していくために、上記の基本方針は維持されるべきと思います。
住宅地の中にある自然としての役割を継続して欲しい。 また、娯楽施設としては運動場やプール、喫茶室などで充分と思います。 お金儲けのためのアルコール販売や、夜間の治安悪化につながるグランピングには反対です。
つくば市は現在、小中学生が増えている状況である。そのような状況では、子供たちが安全に遊ぶことができ、日本の動植物を見ることができ環境は維持していくべきである。そのような場所をなくして飲み会会場を新たに設置することはすべきではないと考える。
この方針を変えてしまうと、公園が金儲けの道具になってしまうと思うから。 公園は人口的ではあるものの、この基本方針があればどどん木を切ったり池を埋め立てたり等、最悪は防げると思います。
沼に集まる鳥類など生態系の保全は維持されることが望ましいと考えます 基本方針に沿いながらまた、住宅地であるため憩いやすい環境、体育館プールやテニスコートは整備し利用者が安全に使用できることも大切と思います 駐車場は渋滞緩和目的に拡大の希望はあります 喫茶など収益につながることも必要と考えます
元々改革を望んでいる住民は少ないと思います。 現状維持が1番です。
緑豊かな公園や遊歩道がたくさんあるのが、つくばの好きなところです。 季節を感じながら、子供を遊ばせたり、散歩をしたりできる環境を残して行って欲しいと思います。
市民にとって癒しの場だから。つくば市の人口に対して家族で楽しめる公園が少ないから。
小さな子ども、お年寄り、家族、時には友達と、季節を感じながら自然にふれあう体験ができる場所が身近に絶対に必要だから。
洞峰公園は年数を経て成長した樹林・樹木を有する成熟した公園として素晴らしい環境が整っている。今の環境を保つべく基本方針を継続すべきと思う。
つくば駅周辺、及び並木地区等の公務員宿舎の再開発に伴い、都市部、住宅地の緑地が失われ、自然あふれるつくばの魅力が著しく損なわれていると感じる。 核となる洞峰公園の緑地は、これまで通り保全を行うべき。
木々を伐採してまで新しい施設は必要ありません。
地域の自然環境や周辺の住民の方の考えと大きく離れないように配慮した方が良いと考えるため。
自然環境を維持する点については概ね同意します。 但しいくらでも予算をかけても良いかというところではないと思うので、優先度をきめて取捨選択は適切にしてもらいたい。
30年以上前に、東京からつくば市に来たとき、あちこちにある公園がとてもすてきだと思いました。 とりわけ、ペDESTリアンを通して、洞峰公園に行くと、まるで避暑地にでも来たかのように感じました。 洞峰公園は、いまの自然環境を壊してなにかを作ったりせず、いまのままの豊かな自然を大事にしていきたいと思います。 なにかを積極的にするなら、他に施設があります。 洞峰公園の芝生で、家族のんびり過ごす休日は何にも代え難いものだと思います。
東京からつくばへ移住してきた方によくお会いします。皆さん緑が多くて住みやすい環境と言っていました。 公園や緑が沢山あるのがつくば市の魅力的なところだと思うので、継続を希望します。
つくばの魅力の一つとして、中心市街地での公園樹や街路樹、旧公共住宅周りの樹木が多種類で伸びやかに大きく育った緑豊かな環境がある。この環境は、比較的人口が多い他都市ではそうそうなく、日本の都市環境として見本となる貴重なものだと思う。この環境をつくばの魅力の一つとして大切にしていくためには、上記の基本方針は重要だと思う。

つくば市内には最寄り駅近辺（つくば駅や研究学園駅近辺）に、市民がイベントや学校の部活動や行事として気軽に利用出来る体育館やグラウンドがありません。

洞峰公園は体育館やグラウンド、プール等の施設もあり、市内各学校の部活動の練習試合やイベント等に活用しやすい場所に有ると思っています。

ただ交通アクセスが今一つ利便性が悪い（バスの稼働率が少ない等）と感じます。

バスを上手く活用すれば、渋滞緩和・保護者の送迎負担・事故防止にも繋がると思います。

バスの運転手不足は全国的にも問題になっていますが、市内の人口増加に伴い、高齢者も今後も増加することを考慮するなら、バス稼働率・運行ルート等を市民が利用しやすいようにきちんと見直して活かして欲しいです。

つくば市は、大きな木と豊かな自然が沢山ありながら街としても多くの人口と多様な文化・施設がある特異な地域だと思いますが、これは私がつくばに移住する事を決意した理由の一つです。

街の中にこのように森のような公園がある街はあまりないと思います。

生えている木もイチョウや桜などオーソドックスな物だけでなく海外に生えていそうな珍しい木もあり、うっそうと生い茂っており、一歩入り込めば街ではないような異空間です。洞峰公園のそういった所が好きだという人も多くいるかと思っています。

日々洞峰公園を利用するケースのほとんどを占める散歩やランニングの利用者は、あの自然が好きなのではないかなと思います。

そういった長所は是非なくさずに活かす事で更なる発展をして欲しいと願います。

よくプール、ジョギングコース、記念館のレストランを利用しています。

木々が多くて、静かなところで、大好きです。

近く唯一の50メートルのプールでもあるので、税金をプールなど施設に使って、必要な冷暖房や、衛生面や、便利さなど改善してほしいです。

何より自然環境と利用する子供達の安全性を最優先に考えて頂きたい。

グランピングは正直必要のないものを感じており、大切な自然環境を壊されてしまう計画という意味では、これまでの基本方針の見直しも必要かと考える。

数あるつくば市の公園の中で洞峰公園が一番魅力的で好きです。その理由は、沼周辺の木々、葦、生きものが棲む環境があるからです。中央公園は整備され過ぎていて、つまらない。松見公園は少しいですが、とても洞峰公園には及びません。筑波山等自然が間近にある環境ですが、学園都市内は、車移動が前提とされている単調な街です。ペDESTリアンや少しうっそうとした洞峰公園は歩いて楽しむことができる、学園都市内の癒しの場です。残しましょう！

子どもたちが幼い頃は毎週のように活用し、沼の周りを散歩したり季節の移ろいを楽しみながら家族でゆっくり過ごす事のできる素晴らしい公園とっていました。

つくばに引越してきて間もないママ友同士の集合場所にもなっていて、皆で親子の教室にも参加し安心して時間を過ごす事ができたのを覚えています。

当時を思い出すと、お手洗いの整備や屋根のあるエリアが増えるとお天気を気にせずに遊ぶだけでなくイベント等も開催しやすくなるかと思いました。

今の洞峰公園があったことが移住の一つの後押しになりました。

子供と遊んだり、ランニングをしたり、ゆっくりとコーヒーを飲んだり、たまにプールも利用したりしています。

どこに行っても似た風景で画一的な都市開発が行われている街が多いなか、緑豊かで穏やかでキレイな公園がたくさんある点は他の街と違った魅力ですし、洞峰公園はそれを象徴する公園だと思っています。

敷地も広く老若男女問わず 集まれる理想的な公園だと思うから。

現状の老朽化、問題点、改善点の対策をお願いしたい。

自然豊かな洞峰公園が洞峰公園の良さであって駅から遊歩道を歩いて来た時にも駅からの並木や竹園公園、二ノ宮公園と自然がある公園が続いていて素敵だと思っています。スポーツを主体とする公園は桜南公園が既にあるので何も洞峰公園の自然を壊して作ることはないと思う。もっとスポーツの場が必要ならばつくば駅の図書館の側の住宅廃墟地にスポーツセンターとそれに合う駐車場でも建てれば都内のスポーツセンター施設にも劣らず素晴らしいものが出来るのではないのでしょうか？若い運動したい盛りの筑波大学の学生さんたちと地元の人と交流の場にもなると思います。

基本方針がかたちづかった現在の緑地空間は、立入不能な国研敷地内を除けば市民が利用できる貴重な緑地・開放空間となった。

周辺の住宅開発が進むにつれ、基本方針の維持はますます公園の価値を高めるであろう。

市の中心にあるにも関わらず、四季折々の動植物が観れるとても貴重な場所です。子連れが楽しむだけでなく、散歩や運動の場にもなり老若男女に愛されています。できるだけ今の状態を保ちつつ、BBQやキャンプ施設など入れずに運営してもらいたいです。

つくばに来て、あれほどの立地でこんなに緑がある事に感動しました。ぜひこのまま子ども達に残してあげたいです。

樹木等はこのままで良い。

<p>スポーツのできる公園である事と、自然環境を楽しめる公園が、市内のアクセスの良い場所にあるというところが、洞峰公園の個性であると考えられるため。</p>
<p>公園利用者の多くは今の自然体の形で散歩をしたり、ランニングしたり、落ち着いた場所としての継続を望んでいる方が多いと思います。私もその1人です。</p> <p>新たにグランピング施設等は一時的には流行るかもしれませんが、長続きしないでしょう。</p> <p>山でもない街の中心でグランピングやキャンプ等は現実的ではなくメリットを探す方が難しい。</p> <p>その中で子供の安心、安全を考えて、アスレチック等の劣化した遊具はしっかりと整備する事の方が優先事項は高い。</p> <p>今、正に利用している人がより安全に過ごせる公園である事を望みます。</p>
<p>洞峰公園は木が豊かところが魅力であり、木陰は夏の暑さを和らげる。今のままでいてほしい。</p>
<p>駐車場が狭いので、レジャー施設のようなものが新しく出来てしまうと、混乱しそうです。</p> <p>特に北側の駐車場は休日などは、車道まで順番待ちの車があふれています。</p>
<p>洞峰公園は街中にある貴重な緑資源であり、今日では、静かな憩いの場、心身の健康、ヒートアイランドの緩和、生物多様性の保全、自然教育など、多くの役割を果たすようになってきている。これは公園が基本方針に従って育成・管理されてきた結果であり、今後も基本方針の継続が、より豊かな公園環境を形成して行くうえで望ましい。</p>
<p>つくばは家やマンションが近年一気に増え、自然の中で遊べる場所がかなり少なくなってきています。</p> <p>公園も簡易的な遊具があるせまいこうえんばかりあり、広く老若男女使える施設はあまりありません。</p> <p>老若男女自然を楽しみつつ遊べる今の施設のまま運営してもらいたいです。</p>
<p>子連れの家族にとって洞峰公園はつくば市で一番大きくて交通の便も良い公園のシンボルでした。これからも子連れ家族のリラックスの場として安全で楽しめる施設であってほしいです。今後、つくば市の所有となるのであれば、市内の小中学校やフリースクールが積極的に活用し、各学校の施設維持の負担が減ると良いと思います。</p>
<p>『スポーツを主体とする動的レクリエーションの場としてだけでなく、洞峰沼の景観及び生態系の保全に留意した施設』に賛同します。</p>
<p>生態系保全の目的を次世代を担う子供達に理解浸透させる場として絶好のロケーションであるから</p>
<p>なかなか地域をあげて思い切りスポーツを出来る施設がないので、土日も朝から様々なスポーツを安全に行い多くの人で賑わう公園の現在の状態が素晴らしいため。</p> <p>茨城県では是非全面バックアップのもと、公園維持を行っていただきたいです。</p>
<p>既存樹林・樹木を可能な限り保全するのはとても大事です。訪れるたびに、街中にいることを忘れ、マイナスイオンを思う存分浴びられてリフレッシュできるところが気に入っています。</p>
<p>静かな環境を望むため。</p>
<p>つくば市に住み始めて45年、ずっと親しんできた公園です。今の姿が好きです。</p>
<p>現在ある動植物の保護をするために、大幅な環境変化はない方が良いと考えている</p>
<p>特に問題無いが、野球場の閉鎖期間が長く、利用料金も高い</p>
<p>緑地計画の方針に異論を唱える点はない。</p>
<p>今の状態が程よく自然を感じられて遊びやすい環境なので。</p> <p>余計な設備は増やさないで欲しい。</p>
<p>今までのままで満足。</p> <p>道路周辺が混み合うのは生活が不便になる。</p>
<p>現状の使い方に満足しているが、グランピング施設などの参入には反対です。老朽化などの問題もあるかと思いますが、公園と市民を中心とした公共施設であってほしいと願っています。</p>
<p>昨年つくば市に転勤で来た者です。</p> <p>地元の子育てをしている方にとっては「安心して通れる通学路」と聞いたことがあります。</p> <p>スマートシティ、市街から少し離ればまだまだ豊かな自然がある。それはつくば市の良いところだと思います。</p> <p>他に魅力的な施設は少し足を伸ばせばあります。</p> <p>新たなものは魅力的ですが古くから大事にしてきたものもまた魅力です。</p> <p>変わらないものがあっていいと思います。</p>
<p>市街地周辺には樹木など自然環境を残した公園が少ないので、洞峰公園は自然を保全した状態を維持し、子どもたちや利用者の自然学習の場にしてほしい。</p>
<p>このような広く、家族みんなで気軽に行ける公園が必要だから。</p> <p>変にこりすぎず、日常的に普通に遊びにいける公園がいまは少なすぎて、子供たちにはこのような公園が必要。</p>

自然地形が残されている場所があるほうがよい。水の流れが見え災害対策にも繋がる。
宅地開発などで市内の生態系が崩れているのではないかの心配しています。せめて、公園などの広範囲な土地において、保護できるものがあるならば、継続してほしい。
つくばは、人口も増加しているので自然豊かな場所は、貴重で住みやすさにもつながる。
研究所や国の機関が多い街だからこそ、このような場所の重要性を認識してもらいたい。
自然環境を一度壊したら修復は困難だから。
一度でも失った自然環境は完全には元には戻せませんし、市として商業施設を作りたいのであれば別事業で行えると思うので。
自然環境保全と都市空間整備の両立が、この地域の特色かつ財産であると思うため。周辺は都市化されていることから、洞峰公園については自然環境保全に力点を置くことが上記の両立につながると思う。
四季折々の様子を楽しみながら、犬の散歩をしてきたので、そのままであって欲しいと思います。
やや樹木が大きくなりすぎているかもしれないが、よい環境だと思う。
つくば市にはじめて来た時に、洞峰公園の美しさに驚きました。
日本に、こんな素敵な公園があるのかと思いました。
池の周りの杭もなかった時の話です。できれば、このままの雰囲気に残していただきたいです。
動的レクリエーションも大事だが、身近に虫や植物の観察ができたり、森林浴まではいかなくとも森を歩くことで心身ともに癒される環境があるのは教育面でも生活の上でもとても大切だと思うから。
また自然の中で安全にある程度の距離をウォーキングできたり、お散歩できる環境はとても良いと思う。
人間の勝手な都合により生態系に新たに影響を与えることには反対です。できるだけ自然環境を維持していくのが人類の義務だと思っています。
樹木を切らないでほしいです。鳥達の居場所を脅かさないで欲しいです。小さな命が懸命に生きていて、それを人の都合で奪わないでいただきたい。
グランピング施設とかにならないのであればよいと思う。
樹木が豊富であることが癒しのあるスペースとなりえ、自然との共生がつくばらしさでもあると考えるため
現状で大きく買える必要はないと感じるが、実際に木も枯れたり大きくなりすぎたりするので、数十年後のことを考慮した長期的視点で整備をした方がよい
野球ができない野球場も変えた方がよい
動植物を保全する緑地を散策出来る公園が身近にある事で、市民の癒しとなる為。親子の息抜きや、地域住民の交流の場としても、自然豊かな洞峰公園はとても重要としています。
また、私は個人的に他県からも人を集めて“ファンタジー交流イベント”という非営利のイベントを開催していますが、洞峰公園の許可を得た上で行った2023年11月25日の撮影イベントでは、茨城、千葉、群馬、東京、神奈川等からも参加者が集まり、洞峰公園内の自然は、とてもファンタジーとの相性がよく、規模を拡大しつつ、ぜひ今後も開催してほしいとの声があがっています。
国際的に小さな緑地を保全する方針のなかで変更は考え難いため。
現状に不満はない。運営上財務負担が大きければ見直しするべき。
自然を、人工的にしないで欲しいです。
当初案にあったグランピングなどいません。
街の中に緑と自然豊かな大きな公園があることに意味があるから。今のままののどかな公園であってほしいです。
方針策定時から歳月は経ったかと思いますが、方針内容に違和感を感じません。むしろ「景観及び生態系の保全」の重要性は、年々高まっていると感じます。
池と樹々とスポーツ施設がバランス良く配置されている。散歩やランニング、バードウォッチング、ピクニックが楽しめる。近隣の食事ができて、行ったり来たり長く滞在できる。
豊かな自然を感じられ、かつ整備された公園は県内でも有数。近隣市町村にもなかなかみられない環境であるため、是非保存していただきたい。
住宅地が多い学園都市近辺での緑地帯の確保は重要。収益よりは市民への憩いの場の提供であることを重要視していただきたい。
緑豊かな洞峰公園が好きで近くに住んだから
既存樹林・樹木をなるべく残して欲しい。それらを伐採するような開発はのぞまない。
背の高い樹木が並ぶ洞峰公園はなんにも代えがたい気持ちよさがあるから大好きです。
これだけの樹木を再現するのは長い年月がかかることから、安易に切ってはならないと考えます。



<p>自然に触れられる身近な場所として重宝しています。また、自分の子どもに森林や生態系の大切さを教える場のひとつにもなっています。（野鳥に餌をあげてはいけない等、洞峰公園で教えました）</p> <p>基本方針の継続を希望します。</p>
<p>住みやすいまちづくりという観点からこの規模の緑を残すことは大切だと思います。1度壊してしまったら、この規模の公園や緑を作ることはなかなかできない。</p>
<p>『洞峰公園は、スポーツを主体とする動的レクリエーションの場としてだけでなく、洞峰沼の景観及び生態系の保全に留意した設計』がある程度保たれており、基本方針の主旨に賛成するので、基本方針を継続したほうが良いとなります。</p>
<p>茨城県からの譲渡と維持費、グランピング施設の計画などなどでややこしくなっていますが、基本的には従来の洞峰公園のあり方をそのまま残して頂ければ大満足です。</p>
<p>筑波研究学園都市の既存樹林・樹木は貴重なつくばの宝であり、公園において樹林・樹木を保存することは、都市の中で樹林・樹木を大切に保存する役割を果たしていると思うからです。</p> <p>私にとって、筑波研究学園都市の魅力は、官民の研究所が国内最大規模で集積し、先端技術が多くの分野で研究されている研究学園都市であるとともに、都市の中に多くの公園が配置されていることや、東大通り、西大通り、国道408号線などの主要道路に連綿と続く美しい街路樹です。赤塚、洞峰、二の宮、中央、松見の各公園を5kmほどの遊歩道でつないでいることは、都市の中の公園を拠点としながら自然を大切にするというコンセプトが感じられます。</p> <p>樹木の緑は、人の心を癒やす働きを持っていると思います。荒涼とした冬を越えて、春の若葉の新緑は私たちに希望を与えてくれます。私たちは、夏の深緑に生命の力強さを感じ、秋には彩られた紅葉を愛でることができます。公園の樹木と街路樹は四季の移り変わりの美しさを私たちに与えてくれています。緑あふれる公園は市民の憩いの場であり、都市のオアシスとして生活に潤いをもたらしてくれます。</p> <p>また、洞峰公園は、とりわけ樹林・樹木の本数が多く樹種も豊かであり、自然豊かなつくばの都市公園の象徴的存在であり、洞峰沼を樹林に囲まれながら一周するコースを散歩すると心身がリフレッシュするのは私だけではないと思います。洞峰沼も周囲の樹林・樹木も現況の地形、景観をできるだけ保存することが望まれます。</p> <p>筑波研究学園都市の公園緑地計画の基本方針は、上記のような樹林・樹木の持つ効能をできるだけ活かし保護していくという方針として、自然環境を守るべく、今後も継続していくことを希望します。</p>
<p>研究機関の多いこの地で、樹木や生態系の研究にも貢献する可能性を壊したくない。</p> <p>教育としても利用してほしい</p>
<p>水と緑にあふれる空間は住民生活に潤いを与える重要なものであるが、都市化が進むつくば市においては、その重要度は特に高い。</p>
<p>幅広い年代が、幅広い用途で活用しやすい公園となっている。植栽が人工的な庭のようではなく、自然体で美しく落ち着きがあり、洞峰公園らしさであると感じている。</p>
<p>今まで守り、育て、培ってきた洞峰公園の人と自然を共存させてきた環境を維持・継続してほしい。身近に触れられ体験できる素晴らしい環境を大切に後世につなげていってほしい。</p>
<p>今の基本方針を維持しても、運用をしっかり行うことで、公園の維持も可能で、何よりも新たに若い子育て世代を呼び込む材料にできると考えられるため</p>
<p>研究所や田園などの緑があると安心してると必ずしっぺ返しを喰らいます。都市内の緑や自然はやりすぎくらいに守らねばなりません。その意味で現在の方針は守るべきです。</p>
<p>つくば市南側のみどりのネットワークの大きな拠点として計画し、造られ、維持されてきた都市の中の豊かな自然をなるべく残していきたいから。</p>
<p>他県から移住してきた者として、今の洞峰公園の自然とのバランスが素晴らしいと感じているため。</p>
<p>地元の人に愛される公園であってほしい</p>
<p>現在、十分に充実、活発な利用がされている公園だから。</p>
<p>これまでの景観に満足している。紅葉の季節などは、その美しさに多くの来場者があった。これからも保持していきたいと感じる。</p>
<p>沼の景観がとても美しく、四季を感じられるのが良い</p>
<p>土地は他にもいくらでもあるのだから、わざわざ公園の景観を壊して何かを作る必要性を感じない</p>
<p>地球温暖化対策や、大きな木があることによる精神的なよい影響を考えて、木をできるだけ残してほしいから。</p>
<p>つくば市の中心地で、研究所、住宅地の中ではあるが、多くの自然が残り、貴重な植物や生物が生息している公園です。そして、利用する人たちのスポーツや文化施設とも共存できている、豊かな環境であると考えます。当時、この公園を作った方達の思いが、そのまま進化も遂げている。利用している人たちの公園を守るという努力も感じられる。このままの方針で残すのが、この公園、周辺住民、頻りに利用している方達や、高齢者、子供達にとっても1番良いことかと思います。</p>

つくば市の中でも街中に存在するが、多くの樹木がある一方で、近隣の利用者が多いという安心感があり、母親と子供の組み合わせや子供だけでも安心して利用できる。
子どものため
人間は自然環境の上に生活を営むのでありその基盤たる環境保全は重要だと考えるから。またそのような政策を公園というさまざまな世代やコミュニティが行き交う場所で実現することは意義深いと思うから。
市民の憩いの場所として、今のままを維持してもらいたい。研究学園都市として開発とは別に自然を残した静かな憩いの空間として、残してもらいたい。
茨城県の行っていた管理水準をキープしていくために今まで通りの基本方針を継続すべきであると考えている。また、基本方針の見直しを行うことは既存の都市公園の管理水準まで落ちることが考えられる。
都市の中の多くの樹木や水辺がある環境は貴重。 子どものころからアスレチックなどの遊具だけでなく、その自然環境が学びにつながっていたと思います。
市唯一の県立であり市立公園であり保全して欲しいからです
四季折々に樹々の美しさに癒されています。住宅街をぬけ、眼前に広がる林や池の広々とした空間は、気分転換や自然の力を感じ、癒されています。 洞峰公園は研究学園都市ができる前からの生態系が残っている貴重な歴史的価値があると思います。 また、一度に何十種類もの野鳥が生息する環境が維持されているのはつくばにとって宝です。 自然環境は維持管理に人の手も必要ですが、一朝一夕にできるものではありません。 県のグランピング計画を回避できるなら、市が維持管理費を払っても十分費用対効果は得られると思います。
学園都市として樹木の保全は教育や科学、文化の醸成に不可欠な環境要素と考える。
生物多様性の保全にかかる要素は大きく、首都圏に存在する生き物の棲家として公園が存在していくことを望む。恩恵は日本全体にまで及ぶものとするため。
洞峰公園、中央公園、松見公園と比較的規模の大きな公園がペDESTリアンデッキを介して配置されているつくば中心部にあって、それぞれの公園がそれぞれ異なるコンセプトで継続的に存在していることが街づくりの視点から重要である。 植栽について当初より樹種を考えて居たのであればそれを維持することが望ましい。昨今の気候変動により樹木が枯れるようなことがあればそれはそれで貴重な啓蒙資産である。大きくなりすぎた樹木はただ伐採処分するのでは無く、材木として活用することも検討して良いと思う。公園の樹木は比較的手入れがなされているので、公園産樹齢数十年の木を使った木工製品をつくば市で利用販売すれば良いだろう。 一方で施設は老朽化が見られるので、整備するのか解体して緑地を増やすのか検討するべきだと思う。特にプールに関しては二宮公園と統廃合するのが望ましいだろう。
開園当初の基本方針は都市公園の機能を果たすのもであり、今日に受け継がれるものとして評価できる。継続すべきです。
つくばもどんどんマンションが立ってきて都会っぽくなってきましたが、ここで育ってきた私としてはつくばの自然の豊かさがつくばの一番の良いところであり、中でも洞峰公園があるから私はつくばが大好きです。 洞峰公園が今のような形でずっと残っていて欲しいです。 秋になると真っ黄色になるあの道や、たくさんの木に囲まれたマラソンコースを散歩するのが大好きです。
鳥など、公園内にいる自然動物への影響を考えると、樹木の保全は重要だと思います。よく整備されているので、子供の散歩や大人のリフレッシュの場となりつつ、自然と親しめる今の基本方針に賛成します。
立派な樹木が並ぶ公園の景色は利用者だけでなく、通り行く人にも少なからず影響を与えるものだと思います。 管理費には膨大な予算を要することも理解していますが、今後新たに別の場所で整備をすることや別の場所の樹木の管理を考えると、洞峰公園のものに関しては必要経費だと感じています。 それだけ洞峰公園一体に価値を感じています。 今後の管理費が膨らんでいく中でも、率先して残していくべきものと感じています。
此れ以外の方針となると、いわゆる箱物等のなんらかの物を建てる事になるかと思うが、その場合、その維持・運営等が不明瞭な為。
公園は緑地も含めて地域の生活の一部です。公共財として市民にオープンな形で運営すべきです。

貴重な森林保全の場であり、動植物の生育の場所としても大切だと考えます。

つくばも発展が進み、森林が伐採されているので。

研究学園は、昔は森林でした。

人口の発展も重要ですが、自然の生態系を保全することも大切だと思います。

商業利用ばかりでなく、人が自然と接することのできる場所があることが大切ではないでしょうか。

子供にも大人にも。

開発ではなく、自然を保全する場所であることを希望します。

沼が臭いのでTV番組の池の水ぜんぶ抜くをやってほしい。費用は番組もちだしマンパワーもボランティアなので市の負担も少ない。

自然環境を守りその中で、人が心身の健康の増進の為に種々の活動を行うためには、自然環境に敬意を表するためには守る必要のある方針であると思う。

設問に書かれている3項目は一般的な公園設置の基本的な考え方として賛同できますが、洞峰公園固有の状況を考えると当てはまらない部分があります。

洞峰公園の一角は研究学園都市建設の過程で地形、植生など大きく改変されて整備されており、一部にもとの植生が残されていますが、大部分は新たに植栽されたものです。もとの地形は台地の上に刻まれた細長い谷で松林、水田、用水池として農業利用されていました。この「基本方針」は学園都市建設時の指針と思われるのですが、都市公園として整備されている現在の洞峰公園を今後どう保全活用していくかの指針とはならないと思います。今後の洞峰公園をどのように整備、維持管理するかの基本方針を新たに考える必要があると思います。

洞峰沼は公園整備前は農業用水池として利用されており里山の自然環境が広がっていました。公園化により陸地と水域が区切られ、周辺はほぼ乾燥状態になっています。以前は、現在の東大通り、宇宙センター、産総研などが建設されている地域を集水域として細長い湿地、水田が広がっていました。都市開発により、この集水域は消滅し、洞峰沼の水源はほとんどなくなったため、地下水をくみ上げて水を補給しています。洞峰公園開発時は公園緑地の整備に主眼が置かれ洞峰沼の生態系保全の認識はなかったと思います。

また学園都市建設後、周辺地域の開発が進み、近年渡り鳥の飛来が多くなり、県南の貴重な中継地となっています。このような観点からも公園整備、管理のあり方を新たに見直す必要があると考えます。

最後に、このアンケートの最初の設問が「新都市の公園緑地計画の基本方針について、どのように考えているかご意見をお聞かせください。」と、この基本方針が洞峰公園のあり方を考える際の前提のように示されていますが、この基本方針は何なのでしょう。公園建設時に明文化されて、指針とされていたのでしょうか。現在も拘束力があるのでしょうか。もしそうでないのならば、この3項目にこだわらずに今そして今後、洞峰公園をどうしたらよいのかを改めて考えた方がいいと思います。

つくば市全体の魅力のひとつとして、自然と調和した住環境というものがあると思う。

しかもこれは、魅力の中で大きな部分を占めると感じている。

洞峰公園を訪れる人の中には、ジョギングやウォーキングなどのために、遊歩道部分を使う人と、洞峰沼周辺でバードウォッチング・撮影などの趣味を行っている人がよく見受けられる。

このような公園の楽しみ方をする上で、地域の自然環境や生態系を保全しながらの公園エリア活用を継続してもらえると嬉しい。

グランピングを周影木工場のためにわざわざ洞峰公園に取ってつけたように持ってくる必要は無い。

収益向上は、利用者(利益者)負担(例えば、駐車場代金や施設利用料、教室を開催している団体)で賄うべき。

小さな子が使える遊具はもう少し増やしてほしいところですが、緑が多く、整備された通路での散歩や、小さな子供たちが多目的に使える広場があるのは大変ありがたい。みんなでルールを守りながら、維持していきたいですね。

昔から変わらないそのままを保つことが筑波の景観を保つことにも繋がると思います。樹木を出したりすることは賛成ですが、伐採したり新たに施設を建設するのは反対です。

これ以上何も付け加えない事を願います。

研究学園都市開発当初から一家で移住し、洞峰公園を中心に、並木10年・稲荷前18年・松代18年と46年間学園都市の発展をつぶさ観察・活用してきた結果、快適な「とかいなか」を体験した結果、今までの基本方針を継続・発展させるのが好都合であると実感しているため。

洞峰公園はたくさんの樹木に囲まれて森林浴が出来る憩いの場です。

この木々を大切にしたいです。

私は毎週体育館を利用していますが、終わったら必ず池の周りを深呼吸しながらゆっくり歩きます。

親子連れや年配の方、ランニングやウォーキングをしている方など、皆さんそれぞれ楽しんでいます。

公園のお手入れやお掃除をされている方々はご苦労もおありだと思いますが、ぜひこの素敵な公園を自然のまま維持して頂きたいと思います。

<p>都市公園としては珍しく、樹木が多く、渡り鳥も沼に飛来し、四季の花々やバラ園も楽しめる。このような豊かな自然が、洞峰公園のベースになっているので、今までの基本方針継続がよいと考える。</p>
<p>現状の利用形態に満足している。関東平野に自生する樹木類を主体としており、景観的にもこの土地らしさを感じる。一方で、経年による樹木類の高齢化や踏圧による土壌の硬化などによる緑地の衰退も見られる。可能であれば現状の維持が望ましいが、利用者の安全の確保や生育する樹木類の健全性の維持などの必要性に応じて伐採したり、更新を促すなど、長期的なビジョンで持続的に管理していく必要があるのではないと思う。</p>
<p>洞峰沼の保全をする事によって継続して公園全体の環境を保全できるのではと考えます。</p>
<p>市内で宅地が増えるなか、ある程度の規模の緑地（芝生&amp;雑木林のセット）でありながら、遊歩道としても整備された環境は市中心地域では類いまれなる環境であるため、現行の緑地及び生態系を保全する方針の継続を希望します。</p>
<p>利益追求の施設は洞峰公園でなくとも、土地の確保さえできれば実現可能。</p>
<p>時間の経過と共に作り上げられた生態系は資産価値として換算しがたい。お金ではてにいれることができない貴重な環境。</p>
<p>樹木や生物の環境は、新しく作り直せば良いものではないから。 しかし、体育館やプールなどは別地に移転は良いと思います。</p>
<p>駅から2キロちょっとの場所にプール、ランニングコース、テニスコート、子供達が遊べる広場を有する洞峰公園は素晴らしいと思います。 周辺住民にも利用され、愛されている場所だと思います。 木を切って、新しい施設を作る事はお金があれば簡単です。つくば市ならできるでしょう。 しかし、あれだけの規模で自然と寄り添うような木々のある公園を作るには20年から30年かかると思います。 研究都市つくばと自然豊かなつくばの両輪がつくば市の良さだと他県からきて感じています。 是非、現状のまま自然豊かな姿の洞峰公園であり続けて欲しいです。 ただ一点、野球場もあるようですが、あまり利用されている様子がないのが気になります。</p>
<p>利用者を見ると沢山の鳥たち、虫たち、季節それぞれの木々の変化を楽しんでいる方々が沢山いるように感じる。 レクリエーション施設は、東京にアクセスしやすいつくばという土地柄、また、茨城広範囲を見ると他にも匹敵するものが沢山あり、カバーできていると思うため、大半をその施設にしてしまうのは今や過去を壊してしまい勿体無いように思う。 都市と自然が本当に調合されている市だと思っているため、程よい変化でおさまることを期待している。</p>
<p>市民はあまり、ビジネス的な公園は望んでないのかもしれないですね。</p>
<p>一つにはせっかくの素晴らしい基本理念を途中で曲げるようなことがあって欲しくないということ。もう一つには、公園はできるだけ多くの市民が平等に使用するためにあるものであり、バーベキューやグランピングなど特定の人たちが占有するためにあるのではないこと。さらにこういった活動によって、生態系に悪影響を及ぼし、基本理念が台無しになる可能性が考えられること。使用料のある程度の値上げはやむを得ない。カフェの充実くらいであれば、多くの人も喜ぶと思うので反対しない。</p>
<p>マンションが増えるつくば市にのびのびとできる空間ストレスから解放され子供からお年寄りまで健康や遊びで1人でもきても家族できても静かにすごせたりにぎやかに過ごせたりできる 身近に散歩で行けてリラックスできる建物が見えない池や森林で自然を感じられる太陽や月が綺麗に見える美しい公園でいてほしい。</p>
<p>世界的な潮流を見ても、環境保全の価値は高まりつつあります。 基本方針に基づき「洞峰沼の景観及び生態系の保全に留意した設計が意図され」ていることの意義と価値は広く認められるべきで、土地の利用目的がスポーツであれ、何であれ、この点を失ってはならないと考えます。</p>
<p>今のままで充分だと思います土日は遠方から来る方もいて駐車場に入るのも渋滞が出来るほどです平日もお年寄りや子供などで賑わっています 利用者のマナーもよく公園内はいつも綺麗でゴミが落ちてることはほぼありません犬連れの方もマナーもよくうんこが落ちていることもほぼないです 今のままの洞峰公園が好きです</p>
<p>つくば市の公園で一番景観が綺麗だと思うので、改修するなら別の公園で検討した方がいいと思うため。</p>
<p>洞峰沼の景観及び生態系の保全に留意したままでも、公園としての価値を発揮することは可能だと考えるため。</p>
<p>つくばの自然な環境が漸減してゆく中最後の砦として残しておきたい。 例えば、2-3十年前にはカッコウや尾長が飛び周り、キジが庭先まできていたのに今はいない。 兎や狸も見かけることもなくなった。鶯もメジロも、めっきり減って非常に少なくなっている。シジュウカラも然り。鳥もいない、畑や田圃の緑も少ない街になってしまったのをもとはは戻せないならせめて洞峰公園を今のままにして置きたい。休日にはつくばはもとより近隣からの公園遊びで賑わっている。 他にそんなところは万博公園と洞峰しかない。これが変わったら、つくばの魅力は半減する。</p>

<p>今の自然な植生は貴重で、長い時間をかけて、保たれ育ったものであるので、現状を大切に保守してほしいから。</p> <p>また、人工的な公園は、どこにでもあるが、自然が多く、かつ、アクセスしやすい場所にあり、人々の生活に溶け込んだ、大きなシンプルな公園は珍しいから、大切にしたい。</p>
<p>洞峰公園の自然が好きなのでそのまま残して欲しいです。自宅から自転車で行けるとこにこれだけの自然があり、子どもと散歩したりジョギングできる場所は貴重です。また、個人的には運動施設を使用したことはありませんが、定期的に利用されてる人が一定数いるように思います。洞峰公園は今のままでも十分街の人に愛され、利活用されていると思います。</p>
<p>15年以上、洞峰公園でバードウォッチングを楽しんでいる。希少な野鳥の観察記録もある。</p> <p>周辺の遊歩道や研究所敷地も含めて、研究学園都市の象徴として責任を持って保全すべき。</p>
<p>長い時間をかけて現在の環境を作ってきたので後の人達にも同じ環境を遺したい。</p>
<p>実家が近く、高校まで近所に住んでおりました。</p> <p>自然が溢れる散策路が好きで、アスレチックも楽しいものが多く小学生の頃毎日利用していました。</p> <p>中学高校では登下校時に毎日園内を通行していました。</p> <p>今でも実家に帰省するたびに散歩に利用しています。</p> <p>洞峰公園は住宅街にもかかわらず自然が保全されていることが一番の魅力だと思うので、その魅力に沿った現在の基本方針は崩すべきではないと思います。</p>
<p>基本方針が実を結び、今ではさまざまな生き物に触れられる、見ることのできる貴重な場所になっています。また、緑地と体を動かせる場所の2つのバランスが非常にいい公園であると思っており、老若男女の憩いの場となっているのはそのお陰でだと考えるからです。</p>
<p>子育てするうえで、洞峰公園は欠かせない公園になっているため。</p>
<p>つくば市は、地域によっては自然が残された場所もありますが、そうした場所の多くは計画的に保全されているというより、ただ手付かずで放置されているという印象が大きいです。</p> <p>つくば市内に他にも公園はありますが、洞峰公園ほどの規模や施設がある公園は他にはありません。私もふだんなかなか行く時間は作れないものの、たまに洞峰公園で過ごせると、この公園があってありがたいと思います。</p> <p>つくば市が「研究学園都市」という名前を大切に思うのであれば、科学と自然の調和を目指す象徴として、街の中の公園の景観と生態系の保全に努めていくことは、つくば市の重要な役割だと思います。</p>
<p>スポーツや遊具は、現状維持で。</p> <p>景観や生態系の維持は、これまで以上に重視して欲しい。</p> <p>有名な湿地帯や森林を目指して欲しい。</p>
<p>今の景観は好きですし、基本方針としては賛成として継続を選択しました。</p> <p>一方で、かなり樹木が多い印象もあるので、管理コストを考えると、間引きなども必要なのかなと思います。（県道も間引き直後は気になりましたが、現在はよいと思っています）</p> <p>適切な管理や管理費に大きく影響が出ているのであれば、景観を保つ範囲で見直しなどは必要だと思います。</p> <p>学術都市として、先端技術をどんどん取り入れて欲しい反面、自然の豊かさも残して欲しいから。</p> <p>これからも子供がのびのび遊べる環境や老後もスポーツを楽しめるようにお願いします。</p> <p>一方で維持費もかかると思うので、グランピングではなく、千葉県にある清水公園のようなアスレチックを充実させその利用料を取るのであれば、グランピングほど騒音やゴミの問題は出ないのではないかと考えます。</p>
<p>自然環境の保護・調和には賛同する。一方で保持を謳って財政の圧迫、無駄遣いが懸念される</p>
<p>既存樹林・樹木を可能な限り保全に賛成します。このところ官舎取り壊しが進み、明らかに緑地が減っています。</p> <p>温暖化が進む中、樹木の存続を重視するためです。</p>
<p>自然豊かな洞峰公園が研究学園都市の中心部に存在することに非常に大きな意義があると感じています。洞峰沼の景観は大変すばらしいと毎年感じております。自然と共存するうえで、樹木の管理は必要ですが、地域（および地域の人々）と調和することが公園緑地計画（既存の3つの核）を永続的な方針として進めていただきたい。</p>
<p>いつも子どもたちと遊具で遊び、散策をして楽しんでいます。</p> <p>季節によって変化する公園の色や落ちている葉や木の実、虫など、洞峰公園に行くだけで子どもたちがそれらに触れ合い知らず知らずのうちに自然と身についていく。そのような環境をこれからも継続させていっていただきたいです。</p>
<p>今までに大阪、名古屋、横浜、千葉、宇都宮に住んだ事がありますが、洞峰公園のような自然、スポーツ施設、レクリエーションが充実した公園はありませんでした。</p> <p>素晴らしい公園だと思いますので、これまでの基本方針の継続を望みます。</p>
<p>全国みて他にない、素晴らしい都市公園。NYのアップパーウエストに住んでいたころ、セントラルパーク、リバーサイドパークが住環境の一部だった。帰国後子どもが増え、マンハッタンの緑豊かな静観な公園環境が忘れられず文京区から地方都市への移住を検討、洞峰公園をはじめ訪問したときの感慨は忘れられません。洞峰公園とそこに集う人々の様子（NYの人々のように商業化されていない公園空間で心を満たす、お金と切り離された時間）に感銘を受け、つくば市に移住しました。</p>
<p>洞峰沼を中心に生態系が保護されており、野鳥、昆虫、魚、爬虫類が豊かに生息している様子を観察でき、自然公園として特異であり価値があると感じるため。</p> <p>バランスがとれているのか他の公園よりも蚊が少ないのも嬉しい。</p>

今の公園の環境で日常的に利用する者として満足しています。子連れで利用しますが、緑地計画はとても大切だと思います。子どもは遊具も好きですが、年齢に応じて虫や植物、鳥などに興味関心を示します。芝生だけの公園よりも、好奇心が刺激され、図鑑片手に出かけたりと洞峰公園は他の公園にはない魅力があります。
生き物や鳥、自然と触れ合うことのできる貴重な場所であり、子どもの自由度が高く（道が広い、いろんな場所で遊べる、お弁当が食べやすい）、子どもを連れて行きやすいため
つくばに生まれ育ち、つくばにUターンしてきた者です。たくさんの遊具があり、それを管理していただいていることは、つくばで小さな子供を育てている親として大変感謝しています。 また、私自身がつくば市に生まれ育ってきた中で、洞峰公園の豊かな自然はいつもとても魅力的でした。特に大人ほど遠出できない小学校から高校までの間、自転車で行ける範囲にこのような豊かな自然があったこと、遊具を使ったりマラソン大会で走る中で当たり前前に自然が目に入ること、このような環境に身を置けた幸運には、進学・就職でつくばを離れてようやく気がつきました。自然に興味を持ち、結果として一般企業で研究職を行なっているのもこのような環境があったことが理由の一つであると思っています。 これからの子供達にも当たり前前に自然に触れられる機会を残していただきたいです。私自身がつくばの自然を愛し、Uターンして来た者なので、子供から大人までつくばという郷土を誇れるように、真の研究学園都市と誇れるように、自然を環境をこれからも保全していただければ幸いです。
自然と住みやすさを求めて2016年に東京から移住してきました。洞峰公園では四季を通じてたくさんの野鳥が飛翔し、身近な自然に目を向けながら街の素晴らしさを堪能することができてつくば市民にとってかけがえのない大切な場所だと思います。これからも多くの市民が、洞峰公園を堪能しながら心と身体のバランスがとれるよう、守っていきたいです。
自然豊かで、美しい洞峰公園が気に入ってここで子育てしたいと思いつくば市に移住しました。 今まで通り、これからも全ての年代の人に愛される洞峰公園であってほしい
都心部では長年育てられた樹木を伐採し、再開発を行うという行為が目立つ。また、商業施設を誘致し、利益を上げるような自治体もある。 私はそのような行為に追随する必要は全くないと思う。 変わることがよしとされているのかもしれないが、変えないことこそが難しい。 洞峰公園では豊かな樹木が育ち、人々の心よせる空間となっている。公園を本来の公園とし、人々の憩いの場、誰もが集える場所であり続けてほしい。
住民の生活の中に溶け込んでいる場所だから。県内の遠方から、この公園が気に入ってよく出かけてきている方にも多く会ったことがあるから。
初めて利用した時、都市化が進むつくば市にこんな自然豊かな公園があるのか！と感動しました。今後も古さと新しきの融合したつくば市の象徴として残して欲しいと思っています。
年齢問わず、健やかに静かな時間を過ごせる場所が今つくばでは稀有だから。
継続しつつも、維持管理費用削減や時代や利用形態の変化に合わせて公園を再創造していくことが必要であり可能だと思っています。
およそ7年前に移住した時から、つくば市全体では、人口増加に伴い貴重な自然環境（緑地、未開発の土地など）が年々減っていることがとても気になります。都心と違って、自然とのバランスが優れている地域として現在の移住を決めた者として極力その素晴らしい環境や野生な生き物が守られる施策を進めていただきたいです。
自然環境は大切だから。 市民の憩いの場として散歩したりゆったり過ごせる癒しの場は守らなければならないから。木は木陰を作り、CO2を取り込み、水を取り込み、根で大地を守り水分を少しづつ放散する。暴風効果も見逃せない。しなやかに風を遮る。葉の表面積は膨大だ。地面と樹が減ると気温が上昇するのは身近な経験として誰でもあるだろう。最近の公有地特に公園の官民活用策は、最近のグローバルな緑化動向から乖離しており、是正しなければならないから。県の計画は、特にグランピング施設は昨今の流行から遅れつつあり、しかも立地が海とか山とか自然の中のような感覚、或いはアクアラインを渡ってとか素敵な感覚に欠けていた。（安価な施設では学生が道を渡って避妊具を買いに行くみたいな感じに・・・）市が買い取ることを選択したことは、県がそういう選択肢を示したことは茨城県のイメージアップになったから。 （私事だが、私の父は旧那珂湊市出身だが、私は青森県で生まれ育ち、東京都と埼玉県にそれぞれ20年以上居住しており、茨城県にはとても複雑な心境がある・・・が、イメージは上がって欲しい。）
つくば市二の宮で育ちました。洞峰公園の環境はもちろん、つくば駅周辺も含めた複数の公園をペDESTリアンデッキで結んでいるところも好きです。つくばエクスプレスができ、つくば市の人口が増え続けていることはいいことですが、公務員宿舎の解体が進みマンションや戸建てが増え、住宅周辺の木々が減り、つくばらしさが変化しているとは思いますが。 ペットタウンのひとつではなく、緑豊かな学園都市の特徴を大切にすることが、今後のつくばの魅力を生み、人口増加が止まった後の人口減少の予防になると思います。

<p>つくば市は50年ほど前に研究学園都市として開発・整備された。開発当時の人工的な空間が半世紀を経て、ようやくその景観や生態系が根付きつつある。筑波研究学園都市の公園緑地計画の基本方針3点は、将来的な地域の環境保全のために、長期的な視野のもとに維持すべきと考えます。維持管理費の削減や観光推進のために、短期間で推移するはやりの商業施設の導入に意味はあるのでしょうか？ 50年余をかけて育成してきた樹木や生態系をそのような観光施設のために、一瞬にして伐採・破壊してしまうのでしょうか？ 温暖化による気象変動の現状を考慮しても、地域の中に十分な緑地や自然生態系は保持することは必要ではないでしょうか？ 県内県外からの観光招致のみが地域開発に求める方向性ではないはずだと考えます。住環境における緑地、根付きつつある自然環境の保全の恩恵は大きい。SDGsの推進への貢献を謳う茨城県、つくば市ならではの「地域のため、地球のための地域環境の育成」を目指す判断をお願いします。</p>
<p>豊かな緑地、広大な広場、充実したスポーツゾーンを備える洞峰公園を市の中心部に近い位置に配していることが、今後のつくば市の価値を高めることに大いに貢献するものと思われるため。安価で利用できる現在の運営は、市民ファースト、教育ファーストの象徴として誇らしい。</p>
<p>洞峰公園は長年、公園利用者に親しまれており、その景観等は残していった方が、マンション開発が進む駅前と対比しても、好ましいように思います。</p> <p>しかしながら、通学等で利用する際等に危険がないよう整備を進めていき、更なる進化をすることも大切だと思います。</p>
<p>現在の自然環境は非常に良く、リフレッシュできる場所です。このままこの自然を維持、更により良い環境作りを期待しています。</p>
<p>生物多様性の維持と共に、当地域の原環境を将来の世代に伝えていくことが重要と考えるため</p>
<p>経年によりようやく景観が成熟してきており、伝統すら感じさせる風格が醸し出されてきた。</p> <p>県内に於いては偕楽園、都内の日比谷公園に匹敵する雰囲気となった。</p> <p>現状が洞峰沼の景観及び生態系の保全と公園施設の活用にベストマッチと考える。</p>
<p>公園の改善整備の妨げにならないような範囲で今までの基本方針を継続がよいと思います。</p> <p>現状維持が最優先ではダメだと思います。</p>
<p>自然環境の保全に軸足を置いているから</p>
<p>つくばエクスプレスの沿線の開発や旧公務員宿舎の開発で、市内の緑地はだいぶ減っていると思います。散策ができる程度に適度に管理された緑地は貴重です。今のままの樹々の多い静かな環境であってほしいと思います。</p>
<p>つくば市の住民が多くなるに従い、住宅やショッピングモール等の開発により樹木や樹林の伐採が続き、それだけでなくとも緑地環境が減少している中で、洞峰公園のような大規模に既存樹林を残している場所は大変意義深いと思います！</p> <p>種々の利用を増やす中でも、できる限り自然環境を残しながらの開発や利用に配慮をお願いしたいと考えています。</p> <p>自然のまま残して行くこと自体に意義があると思います。</p> <p>公園はお金をもらって整備してもいいと思います。例えば新宿御苑は入苑料があります。あるけれど、カラスがすごくて荷物から目を離せない、広いが子供から目を離せない（危ない場所がある）洞峰公園だけではなく、つくば市内の大きい公園は、子どもや子育ての親にとってもすごく大事な場所であり、安全です。その価値を高める意味でもこのまま現状を残せるように整備するべきだと思います。わざわざ新宿に移動して御苑レベルの森林を求める都民を考えたら、安く管理しすぎだと思います。大人から100円もらうだけでかなり変わると思います。</p>
<p>「洞峰沼の景観及び生態系の保全に留意した設計」は、生態系サービスの上に地域社会の持続をめざす上で必須であることから、今までの基本方針を継続した方がよいと考えます。こうした設計が国内では稀有であること、および現状が市民にも貴市にも評価されていること（県とのやりとりを拝見してそのような感想をもちました）からも、基本方針の継続が良いと考えるところです。</p>
<p>公園などで提供される生態系サービス（憩いの場、景観など）は公共的なものとして、商品化せずに人々に無償利用できる場を維持することが大事と考えているため。このためには生態系の保全を主眼に置いた基本方針は継続するのが望ましいと考えています。</p>
<p>美しい自然を感じられる公園で、いつまでも残して欲しい。子供たちが巣立ち、夫婦だけになっても、散歩や運動のため、また季節を感じる場として利用し続けたいと思うから。</p>
<p>洞峰公園は、緑豊かな憩いの場所であり、現状の使い方に賛成する。</p> <p>街中に残る貴重な公園であり、基本方針の継続を。</p> <p>キャンプ等を許可すると、お酒が入り込み、さまざまな問題が生じる可能性が高いため。</p>
<p>洞峰公園は利用する立場から見ても、つくば市をはじめとする県内の自然環境と調和した都市のシンボルとして相応しいと思ったため</p>
<p>洞峰公園の素晴らしい自然に優る、その自然を犠牲にしても行なう価値のある計画など存在しないと思います。</p> <p>一度失われた自然は元には戻りません。</p> <p>地球温暖化が危惧されるこの21世紀においては、なおさらの事自然保護を最優先としたまちづくりの計画が為されるべきです。これから洞峰公園のような自然を近所を持つ事はますます非常に贅沢な事となるでしょう。</p> <p>如何なる理由があっても、従来の基本方針を見直す理由など見つかりません。</p> <p>事業者からの美味しい働きかけは後を絶たないでしょうが、つくば市としましては、どうか先見の明を持って確固とした姿勢で自然を守っていただきたいをお願いします。</p>

<p>洞峰公園は貴重な自然資源です。とりわけ、野鳥の楽園であり自然観察に非常に適した場所です。また樹木は景観や自然保護だけでなく、周辺の空気や夏の気温を抑える効果もあります。つくば市の自然は住宅開発等のためにどんどん壊されている昨今、生活の質よりも経済、業者の利益が優先されています。市行政が目先の経済よりも、長期的な環境保全を優先させる方針をとることは、県行政が旧態依然の経済優先か脱皮する小さなインパクトになるかもしれません。少なくとも、SDGsの意味くらいは県行政が少しは認識して欲しいものです。つくば市に住みたい人が増えている理由の一つは自然が豊かだということなのに、自然を蔑ろにして破壊したり景観を損ねて建てられたマンションに住みたいというパラドックス。そこから、住民が自然を守ることの大事さを認識する上でも、今回の市移管を自然保全の意味をしらせることになることを期待します。</p>
<p>現在の緑地環境はとても良いと思うから。むしろ木の手入れにコストをかけてほしい。</p>
<p>その地域の気候風土に適した植生にすることで持続可能性が高くなるため、維持費の高騰も避けることができそうに思うため。</p>
<p>木を保全し、管理していることで、街中で自然を身近に感じ、お金を使わないで思い思いにくつろぎ、遊べて、深呼吸し、リセットすることのできている。 「とかいなか」つくば市の魅力の一つであり、つくばらしさのシンボルである。</p>
<p>グランピングとかされるとごみ問題やお酒を飲む人も出てくるので、酔っ払いのトラブルが発生しそうで治安が悪くなる。せっかくの子供の遊び場を失いたくない。</p>
<p>つくば市が単なるベッドタウン・物流拠点ではなく、「研究学園都市」としてあり続けるために必要な方針であると考えているため</p>
<p>季節に関わりなくいつもたくさんの方が利用している。年齢に応じた楽しみ方(遊具、スポーツ、のんびり)ができる。木々の色や鳥の有無などで季節の変化を感じられる。公園と公園がペDESTリアンデッキで繋がっていて排気ガスの少ない環境で移動できる。</p>
<p>施設の規模や用途、立地についても有益な施設だと感じる。 混雑気味の周囲の道路環境が改善すれば行きやすくなる。 また、駐車場設計についてはあまりよくは感じない。 建物に関しては文化的にも貴重なものでありつくば市内の他の著名な建築物と合わせて保存していくべきと感じる。</p>
<p>洞峰公園は自然豊かで素晴らしい公園です。つくば市民のみならず茨城県民にとって誇りにするべき宝だと思います。大きな樹木が繁り夏には木陰ができます。秋には紅葉が感じられます。憩いの場です。これまで通り、自然地形を大切に、生態系を守る公園作りを強く希望します。</p>
<p>自然がどんどんなくなっているの、保全は大切 東大通りにタヌキが車に轢かれて死んでいました。 洞峰公園の自然の中の小動物たちの保全にも繋がります。</p>
<p>現在の公園はスポーツを楽しむこと、季節ごとの緑を楽しむこと、小さな子供を連れて芝生で寛ぐことが、それぞれバランスよく出来ている。県外とくに人口密度の高いところに住む人を案内すると公園の規模とゆとりを羨ましく思われることが多い。</p>
<p>公園の施設等は時代とともに変化することは否定するものではないが、基本方針の3点の主眼は継続を希望します、</p>
<p>現状の基本方針は、概ね賛同している。ただし、洞峰公園については、非常に広く、施設も多岐にわたるため、つくば市のみでの管理、費用負担は市の財政、住民への負担がかかりすぎる。 維持費の1.5億に対して、負担は問題ない見解のようだが、それならば、つくば市民全体からして、洞峰公園を普段は利用しない方の割合が多いと考えるため、他公園の設備について、安全性を配慮した遊具への切り替え等行い、つくば市全体のクオリティをあげることに投資した方が良く考える。</p>
<p>つくば市も中心部は昔と比べるとかなり緑地が減ってきていることから、大規模な緑地の維持は重要な課題と思われる。 赤字補填の活動を行うとしても、キャンプ場などでは無い形での緑地を活かした活動を考えて欲しい</p>
<p>洞峰沿にくる野鳥や、それを取り巻く自然や生態系の保全を身近に学べる環境がいいと思うから。</p>
<p>現在、池を中心としたランニングコース、その周囲に茂る豊かな植物は、茨城県ならびにつくば市の貴重な財産であり、これを保持しつつ、県民ならびに市民の健康増進に有益な施設となっており、この機能を低下させるに値する積極的な理由は見当たらないから。</p>
<p>グランピングやビール工房のアイデアがあったようだがどう考えても無理がある。 これまで通りのさわやかな公園として存続してほしい。</p>
<p>既存のままで残して欲しい。ただ、プールなどの施設は老朽化しているので、そこに多額のお金を投入するのどうかとも思う一方で、みどりに作った温水プールはどうなのかなあ。緑のなんか遠くてわざわざ行かない。ならば、洞房公園のプールをもうちょっと規模縮小して新設して綺麗なものをつくって欲しい。</p>
<p>今まで多くの市民に愛されてきた場所なので、今まで通りの使い方が良いと思う。県の大幅な現状変更計画が、市民の反発を招いた。もし今後変更するのなら、時間をかけて多くの市民の意見を聞いてからにしてほしい。</p>
<p>季節で変わる風景や鳥たち、自然に近い公園環境に心身共に救われています。どうほう公園が無ければ、2年前に引っ越してくることもなかった。</p>



元来つくばは豊かな自然に恵まれているが、人口の増加に伴い、既存の里山風景が年々失われ宅地や商業地に生まれ変わっている。その中において自然に触れる機会というのは貴重であり、個人的にも、自然の風景の中を散歩したりすることは心身に良い影響を与えることを実感している。自然豊かな環境は即座に作り上げることができるものではなく、一旦壊されると復活するまでに一定の年月を要する。キャンプブームや登山ブームなどからもわかるように自然に触れることが必要と考える人は多く、自然がもたらしてくれる安らぎや癒しを過小評価してはならないと思う。洞峰公園は、街中にありながら豊かな自然に恵まれた貴重な場所で、近隣の全世代の人にとって憩いの場であり、良い教育の場となっている。今回のパークFPIへの市民の反応により、多くの人が自然環境の保全を望んでいることがはっきりした。現状の方針の継続が望まれていると考える。

造成後40年以上たった洞峰公園の樹林は今や立派な森となり、つくば市の貴重な緑地景観をかもしている。また、気候変動が大きな問題となっている現在、森林は気候緩和のために一層重要になってきている。さらに生物多様性の保全も気候変動並ぶ喫緊の課題であり、国連や政府の取組も始まっている。特に2030年までに国土（海洋を含む）の30%を保護区とする国連のネイチャーポジティブに日本政府も取り組んでおり、そのためにOECM（自治体や民間などによる取り組みの推進）による自然共生サイトの募集を始めている。洞峰公園も現在の緑地を保全し、自然共生サイトとしての登録を目指すべきである。このような自然に市民が接することがリトリート（癒しや回復）につながるののエビデンスも出ており、市民のウェルビーイングを向上させるためにも同公園の自然環境を維持すべきである。

高齢の母と良く散歩をしました。大きな樹木、大きな池、広い芝生が印象的な、つくば市を代表する公園です。赤塚公園までの連絡道もうっそうとした森林の中、母とゆっくり散歩するのはこの上ない幸せな時でした。

最近は利用者も増え、ランニングする人が凄く速さで駆け抜けて行くことに違和感を覚えます。ここに、流行りのグランピング施設など作るなら、私は絶対利用しません。それなら、プールやテニスコート、野球場をしっかりと管理して、スポーツ育成の場所にするのが良いと私は思います。

開園時の精神をそのままに引き継いで、自然の中で散歩がゆっくりでき、子供達が安心して駆け回れる環境を維持して欲しいと願います。

追伸、別の公園ですが、市管理の万博記念公園も素晴らしいですが、駐車場が貧弱過ぎです。多少公園敷地を削っても、駐車場の拡張をお願いしたいです。

貴重な自然環境なので、できるだけ維持してほしいので。

スポーツ施設も当然修繕して維持してほしい。

現有スポーツ施設は将来は 民間のアイデアを入れて全面的リノベーションが必要となるでしょう。

生物多様性を大切にする方針かと思うから。また樹木の保全は温暖化対策にも通じると思う。せっかくなので環境省の共生サイト登録など目指すのでしょうか。

筑波研究学園都市は全国的に見ても優れた田園都市を形成している。その中で洞峰公園は、開発前の地形を残しながら既存の植生を維持してきている。この貴重な生態系を次世代に残していくことは、つくば市としても大きな財産とされます。動的レクリエーションの場も現状の規模を維持する程度で、これ以上の規模を開発する必要はないと考えます。

40分かけ来て駐車場にとめ毎週欠かさず愛犬と散歩に利用させていただいています

今まで通りでいてほしいです

これからも利用したいです。

主に自宅から公園通り(ベデストリアンデッキ)を利用して洞峰公園、赤塚公園を巡り犬の散歩に利用しています。

理由としては、設計時の理念を維持して欲しく、木立に囲まれた景観と産総研中央、気象研、高層気象台の森と一体となった貴重な自然を変えないで欲しいからです。

ただ、現状の野球場の利用方法は、使用頻度が低いので考え直しても良いのでは無いかと思われます。もっと自由に使えても良いのでは？

園内を散歩したり、ジョギングしたり、また習い事の度に園内を通ったりしています。

少し訪れるだけでも、公園の木々や生き物の気配に癒されます。ちょっと歩いて観察するだけでも楽しいです。

この貴重な場所を切り開いて新たに何かを建てたり、人が商業的に使ったりするよりは、保全する方向で管理して欲しいと思います。生態系が大切にされていることで、むしろ人が離れていかない、皆が自分事として捉えられる良い公園であり続けると思います。

私達や子供たち、孫たちなどが利用していますが、樹木や池など癒やされる自然が多く貴重です。今のまま存続してほしい。

筑波研究学園都市が計画された半世紀前の方針であるが、まったく古さを感じず、今もなお大切にすべき方針であると思う。

そして、半世紀が経過して、いよいよ、その価値が醸成されてきていると思う。

ただし、維持費については、現状に照らし検討する必要があるが、それが方針を見直す必要性があれば、調整する余地はあるかもしれないと思う。

つくば市は緑地が多いと思われるが年次でその量を見ると、開発が活発で沢山の自然が失われていると思われる。今後も開発、開発に向かって行くと思われるので自然はそのままにした方がいいと思います。失われた自然を取り戻すことは不可能ですから。生き物の生息域を狭め、最後は人間も生きづらくなります

つくば市で1番大きく、ボール遊びを含め自由に遊び・散策ができる数少ない公園であり、つくば駅の遊歩道につながる先として町の重要な都市計画の一部だと感じている。

また、シンプルにそのまま残っていてほしい。

つくばの宅地開発が進む中、市の中心地付近に存在する緑地を保全しながら利用価値を高めて行くことが、QOL向上につながるから。

個人の意見としては「スポーツを楽しむ場」としての公園である必要は全く無いと考えている。従って、公園として自然環境の調和、で充分である。

長い時間をかけて現在の多様な環境が出来上がってきたのですから、現状を続けて行くのが良いと思います。
近隣住民は今まで通りを望む傾向が強いため、本来基本方針を見直したほうが良いが決まらない可能性が高い。 建設的に近隣住民を中心とした、本来基本方針を見直しが可能であれば（近隣住民の多数派）その方針を中心とした計画を画策することが、効率的であり無駄が少ないと考えられる。
桜村とか谷田部町のころから、つくば市に接点があったよそ者ですが、茨城は自然が豊かでこれこそがつくばの魅力です。 最先端の科学都市と豊かな自然の組み合わせこそ、世界に誇れる数少ない土地です。アメリカの大手製薬会社やアカデミアのキャンパスを彷彿させる日本には稀有な都市であることを、どうかご認識ください。
現在、高輪ゲートウェイの高層ビル建設地の隣に住んでおりますが故に、強く自然の豊かさこそが得難い財産であることを感じます。自然を壊すのは一瞬でできますが、それを再構築するのにどれだけの時間が掛かるのでしょうか。少なくとも人の一生より時間が掛かるのは確実です。
都市に自然をとというのは、学園都市の理念であったと思う。 これを維持し発展させることが大切だと思います。 やみくもに、都市化を目標とはしないほしい。
無償譲渡以降の管理がしっかりできない（設備の劣化を補修で誤魔化す）のなら県に管理をさせる方が中長期的にも無駄な支出を押さえる事ができると考える グランピング施設の誘致等を理由に市から要望を出した事が発端であると聞き及んでいる その理由は環境破壊や治安悪化を上げているようだがグランピング施設ができれば人の流動性が上がり周辺の施設などには集客効果があるかもしれず環境破壊を理由とするのなら、公務員宿舍等の取り壊し時には大量の森林が伐採されていたがなぜそちらには市として保全をしなかったのか？ 他所からの人が来ることにより治安悪化を理由とするのなら移住や、旅行者も合わせて排除されるべきである結論的には、環境破壊（おそらく森林伐採の範囲）を理由にするのならどの程度の譲歩ができるのか治安の悪化が懸念されるのなら「どのように管理体制を行う予定なのか」を検討すべきである 無償譲渡後にはつくば市として保有する事から、その莫大な維持費は市民税などで賄われるのなら少なくとも「洞峰公園周辺」の住民等が主だと考えられる市民団体の意見ではなく周辺に住んでいない住民の関心は想定されるより薄いのではないか？ 無償譲渡後に、行政として多額の管理費等を支出するのならつくば市に住む住民による投票を行う必要があるのではないか？
洞峰公園の自然の景観が素敵だから。ただ、沼の奥の草が生えすぎている部分はうっそうとした感じがあるので手入れをしても良いと思う。
研究学園都市建設時の基本方針は堅持すべきものと考えます。 元の原風景を尊重しつつ地域の自然環境を保全してきたからこそ今の洞峰公園の価値があるのであり、この公園の良さは全てこれが土台になっていると思います。
キャンプやバーベキューは、やるなら単発のイベントでよい。
周辺地区含めて開発（宅地、物流センター等の工業地）が進む中、中心部にある緑豊かな公園として維持する意味は大きいと考える。
すでに出来上がっているスポーツを主体とする動的レクリエーションの場としての機能に、自然を維持する公園としての上記3点を守るのであれば、それで良い。
自然環境に調和した美しく静謐な公園環境は貴重であり、それ自体で利用者に大きな便益を与えている。（直接的な金額への換算は難しいかもしれないが、利用する市民の幸福度の向上を、同程度の幸福度の向上を得るために必要な所得向上と比較するなどの算定は可能かもしれない。）誰でも利用できる公園は、競争性・非排除性を持たない公共財であるのだから、営利組織によって同様の便益を生むことはできず、公的に供給する他はない。すなわち、公園単独での収支で判断するのは誤りで、便益に見合う支出ならば公的に負担するべきである。 過去に洞峰公園を何かのスポーツ大会に近い時期に複数回使用されて一般利用者が使用制限されたことがあり、その時に違和感を感じました。地元小中学校がマラソン大会などされるのには公園の利用として正当だと思いますが、その時は市民は使えなかつたと思います。映画やテレビ番組の撮影は、地元の資源が活用されることですから、撮影協力という形で立ち入りできないことは同意できます。このアンケートの書き方では、もし「見直し」をした時、どういう例が想定されるかは書かれていません。中立的に書かれていて起こりそうなケースというのがわからないため、現状維持を希望させていただきます。
一時検討されていた、キャンプ施設などの必要性は、洞峰公園に求められるものではない。他地区に適切な既存施設が少なからず存在する。
近年、学園都市内はビル群がますます増えてきている。その空間の中で、緑豊かで落ち着いたエリアを維持することは重要である。また、従来から地域住民のスポーツに親しむ場としての役割も担っている。その路線は継続して、施設の改修や充実を目指してほしい。野球場も多目的なグラウンドとして整備された方が有益だと思う。
都市化が進む中で、昔からの自然環境を残しつつ市民の憩いの場として利用されてきたて、まさに、地域の核となっているので今のままが良いと思う
既存樹木は出来る限り自然体のままで良いのではないのでしょうか。目指すは自然公園です。
維持のみで美しい公園に設計されているから。 ただ設備面、ライフライン、防災面は当時より今のものの方が遥かに性能面で優れているので更新したほうが良い。
現状維持を求めて、茨城県の案に、異を唱えている人が多数派であるから

<p>緑と鳥と水辺、朝焼けも夕焼けも雪の日も心安らぐ公園です。公園を大事に思う1人として、やれることは協力したいです</p>
<p>夏の暑い時の木陰の遊歩道、維持してほしいです ホールでイベントや展覧会などは歓迎しますが、 市民の憩いの公園として、公園前の道路がこれ以上混んでしまう状況は避けたい</p>
<p>茨城県やつくば市だけでなく、日本全体について、様々な建造物の老朽化問題があり、少子高齢化の社会の中でそれらを安定的に保全していくためには、高度成長期の新たな建造物を造っていく余裕は殆どの地域ではないはずであり、基本、現状を維持していくことがベストな対応策と思います。</p>
<p>変化させるにしても、具体的にこうした方が良くという具体案が思いつかないことと、基本方針はどの時代にも共通する普遍的な事を謳っていると感じるから。</p>
<p>都市内の緑地として未永く残し、子供たちの遊び場、ジョギングや散歩の場など、これまで通り市民の憩いの場として活用するのが良い。</p>
<p>地域に密着している。研究機関と隣接している。</p>
<p>既存樹木の保全、郷土樹種の優先利用という方針に強く賛同するため。</p>
<p>研究学園都市の中で、研究対象としても存在しており、地域社会として成り立っている現況を安易な愚策及び発想で崩すべきではないため。</p>
<p>茨城県が推し進めようとした、見通しの甘い金もうけ主義の路線には反対していました。 現在の洞峰公園は、大通りの隣にありながら、緑豊かで様々な生態系を持つ素晴らしい公園だと思います。 当たり前が存在していると感じる人がいるかもしれませんが、一度失われたら簡単には取り戻せない貴重なものだと感じているからです。 公園計画時の方針を守りながら、今後も持続可能な方法で運用し、次世代に繋いでいってほしいと願っています。</p>
<p>今の樹木資源を残すことに意義があると考えてるので</p>
<p>今の基本方針の元、現在の立派な誇りのもてる公園があるので。 あの樹木は財産であり、守るべきと考える。</p>
<p>つくば市の洞峰公園以外の公園は、旧住宅公団が作ったものもその後に整備されたものも、「人工的空間」で湾岸の埋立地の公園のようです。今後も、既存植生を生かしたものとして整備していくべきと思います。</p>
<p>都市空間の中にある貴重な緑地だと思います。</p>
<p>ただでさえ、自然が、緑がどんどん無くなっています。 自然豊かだったつくば市は何を目指しているのでしょうか。 緑を無くしてマンションを作り、森を切り開いて太陽光発電を建設し、物流倉庫を量産して大型トラックによる騒音、排ガス、道路の破壊。 もうたくさん。 一度、立ち止まって良く考えて下さい。</p>
<p>洞峰池は、もともとは自然沼だからこそその公園維持</p>
<p>子育て中ですが、子どもの遊びの場として利用。高齢者に話し伺ったところ健康維持に利用。私も高齢者となったら健康維持に利用したいと思ってる。それら今の状態を修繕、維持してもらいたいと思ってる。夏場になると蜂が多く危険地帯、またカラスが多く洞峰公園は危険な印象だ。それらは、対処していただきたい。緑化したら、悪化してしまう。</p>
<p>自然の持つ癒しは、人口のものにはかなわないから。 その自然の生態系里山を作るのに 数十年かかり、壊すのは簡単だから。 壊した自然の責任をとるのは子孫だから継続していただきたいです。</p>
<p>過去に近隣に勤務している時に利用させていただきましたが、筑波研究学園都市の公園緑地計画の基本方針は、堅持すべきと考えます。 是非堅持の方向で維持管理していただきたい。</p>
<p>緑の保全は大切だから</p>
<p>公園は利用者が憩い安らげる場所であってほしいと考えます。 つくば市は人口の流入が多く、公共施設・設備の人工密度が継続的に増加している状況であり、特に中心部では物理的に、ひいては精神的にも急速にゆとりが失われつつある状況であると認識しています。 自然は人に安らぎを与えることのできるものだと思いますので、自然環境の保全や調和を計ることは近隣住民や利用者に安心と静養を提供することに繋がると考えますので、これまでの方針を維持していただきたいです。</p>
<p>現状の公園を古くなったところを修繕しながら、今までと同様に使えることが市民の癒やしや趣味活動など楽しむ場所として求めるところ</p>

洞峰沼の景観及び生態系の保全に留意した設計であることは、1周走ってみれば判る。ぜひ、最初の基本方針に戻って、その上でより良き提案があれば、自治体が運営する意図を明確にして、次の世代に引き継いでいくことを考えるべき。
異常気象が問題となっており、環境に対する教育がなされている今こそ、大人たちが樹木を守ろうとする意味が、子供達にも伝わるのでは。巨木の下では時にマイナス20度も温度が下がります。あのように立派な樹々を一から育てるのは何世代もかけて守る必要があります。バーベキューなどやる場所はたくさんあります。維持管理に不足分は駐車料金でまかなえばよい。
木陰乃至は木漏れ日で、春夏秋冬ともジョギング環境が良い。 (自動車との接点が殆ど無い図書館から赤塚公園までコースとリンクして、走行距離も調整し易い。) 広々した公園で、水辺の環境に親しみながら幼児が安心して遊べる。
つくば市の判断を全面的に支持。毎日公園を散策するが景観を含め現状を維持。
人工林といえど既に相当年数が経過しており相応の生態系が定着しているため、日照や交通視野確保など必要な剪定をおこなうのみで良いと思う。
・現状の改善に商業施設を考える必要は全くない。 ・公園はまさに住民の福祉向上のための「公」場であり、維持経費削減を考えるなら少額でも掃除や花壇整備など、利用者の参加も含め、「共」の性格、住民の主体的参加も取り入れる。少なくとも「私」的な収益的要素は除く。 ・学園都市建設の理念、環境研究所、気象研究所など国立の施設も近くにあり、自然環境保全の日本を代表する都市公園のモデルとなてほしい。
洞峰公園の自然が好き
大まかな樹種、および、池の位置は、現状でいい、と、思う。 希少種が地域絶滅することは、去年の県のアンケートでも答えたが、気にしないでいい。 奥山で希少種が絶滅しないで残ればいだけだし、どうしても保存したい種があるなら、環境省や、環境省関東事務所（道州）や、県の単位で、行うこと。 食べられない植物など、すべての種を維持しようとする事自体が、無駄な努力だと、私は、思います。 何も、杉ヒノキ植林にしたり、池を埋め立てる必要は、ない、という趣旨です。
気候変動にともなう都市部の気温上昇を緩和するために、緑地の確保は喫緊の課題であるからです。 また、洞峰公園は渡り鳥の飛来地であり、周辺の湖沼と一体となった生態環境を形成しており、その存続がラムサール条約遵守の観点からも求められているからです。 近年、大都市の樹林がかなりのスピードで削減されています。一度消えてしまった樹林、並木などは短期間では回復できません。筑波大学内の樹林は50年の時を経てようやく豊かなものとなりました。 洞峰公園も筑波大学の構内樹林も、その他のつくば市内の公園も多額の経費をかけて守り育てる価値があると考えます。
倒木など喫緊の状況でなければ最小限の維持管理で十分。 一方、コミュニティスクール活用先等として自然を生かした事業を計画しながらこどもたちにとって、または親世代とふれあう場所として、思いでに残る地として期待したい。
基本方針についてはとても良い。施設の運営方法や駐車場が不足する問題に主眼を置くのが妥当と考えます。
つくば市は様々な開発により、豊かな自然が急速に失われている。そのような中でまとまった大規模公園が少ない状況である。従来につくば市の自然を再現した、自然公園に特化した公園整備を行って戴きたい。
洞峰公園をユニークにしているのは、自然を生かしているということにあると思うので、それを維持する方向が良いと感じています。
緑の多い街のつくば市を今後に残すことが必要と考えます。 従いまして、施設は、現状のままにして、維持経費のために新たにキャンプ場などの収益施設をつくらないでほしい。
洞峰公園はつくば市の「緑の核」となるよう、記載された3点に配慮して、設計・建設されました。その結果、筑波研究学園都市建設以前より自生し他所では希少となった植物が現在も顔を出し、それに惹かれた生き物たちも集まってくるような、都市公園として極めて貴重な場所となっています。この環境を保全して次世代に引き継ぐためにも、基本方針を継続すべきと考えます。
生物多様性を重視しつつ、公園利用者が静的にも、動的にも活動しやすい指針となっている。
市街地でこれだけの自然環境を残せているのは、貴重な事であり、脱炭素社会、未来都市を掲げているつくば市において、シンボリックな公園としてもらいたい。
アスレチックや広場等のスポーツ施設、筑波実験植物園の協力によるバラ等、いつも自然溢れる市民の憩いの場として気に入っています。多くの市民にとって、今までのような落ち着いた公園であってほしいため。
つくば市の人口増加とともに、農地や林が宅地へと変わる様子や研究所跡地が物流倉庫に変わったりなど街は日々変わっていくのですが、洞峰公園は今の景色のまま市民の憩いの場であって欲しいと願います。

公務員住宅売却に際して、時間をかけて蓄積された都市緑地が皆伐され、緑に関して研究学園都市建設の理念や目標が損なわれている現状において唯一残せる可能性が残されていることによる

ももとの意本方針は、素晴らしいと思います。ずっとこの方針は大切にしていきたい。

洞峰公園につながるペDESTリアンデッキも素晴らしかったのですが、国際会議場近くの素敵だった小川がいつの間にか埋め立てられてしまい残念です。民度が測れてしまう出来事でした。

一部に手をつける場合も、住民説明をしていただきたいと思います。

以前つくば市に住んでいた時は毎週末にバードウォッチングや散歩で公園内を散策していたが、緑豊かな環境がとても気に入っており、野鳥も林や池でたくさん見ることができた。今でもつくば市に出かけた時には必ず、公園に立ち寄っている。

つくば市民の憩いの場所としてこの自然環境は維持して欲しい。一度、グランピング設備の設置という話が県から提案されたが、その時つくば市民の反対により、この計画が却下され、県からつくば市に無償譲渡されることになったと聞いている。さすが、つくば市民は良識のある方が多いと嬉しく思っている。

木の種類も多く、一年を通して木々を見るのを楽しみにしている。

子どもが虫取りもできる今の環境を維持してほしい。

公務員宿舎の敷地内の樹木や私有地内にあった雑木林など今までであった大量の樹木が、宅地開発や商業施設、物流倉庫の建設により失われ、開発後の緑地面積は元の緑地面積をはるかに下回っている。

公務員宿舎の樹木の本数や、衛星写真で見える消えた雑木林から推定すると、この数年で10万本は失われており、環境破壊とっていいレベルになってきている。

そんな中、公園までもが既存の樹木を保護するという基本方針を放棄しては、つくばに住む多様な生き物の居場所は減るばかりである。

廃れる流行りにのり施設を改造するより、100年、200年変わらない自然環境を守り持続していくべき。

私自身、幼い頃に両親に毎週連れて行ってもらい、外遊びなどをして過ごしていました。そのため、子供の成長に必要な自然豊かな公園というものをずっと守り続けていってほしいと思うからです。外遊びの機会がほとんどなくなりランニングなどもしない大人にとっては、公園はただの公園でお金にならないつまらないものかもしれません。しかし、子供たちやその保護者にとって公園は子供たちの成長に最も大切なものの一つであることを忘れないでいただきたいです。

今まで通り、県民に寄り添った、県民のための公園であってほしいから

研究所（特に自動車研）の撤退や公務員宿舎の廃止と宅地・商業用地の開発によって、筑波研究学園都市エリアの緑地環境が改変されている状況を危惧しています。また、松代エリアでは、公務員宿舎跡地の宅地開発に加えて元々自生していたアカマツの衰弱・枯死により、既存の緑地の質も劣化しつつあります。そのような状況の中で、つくば駅から徒歩圏内でありながら洞峰公園が豊かな緑を維持していることは、つくば市（筑波研究学園都市エリア）の大きな魅力の一つとなっており、次世代に伝えていくべきと考えます。

犬や子供に優しく、環境にも優しい。整ったランニングコース。子供から大人まで楽しめる遊具。大きく広いスペースの公園スペース。

どれも無くしてはいけないほど魅力に溢れた公園です。旦那の生まれ育った町として、一番最初に連れていってもらったのが洞峰公園でした。私自身東京で生まれ育ったこともあり、洞峰公園のような公園が近くにあれば嫉妬心すら覚えるほどです。

都心を中心に日本の緑地の減少が進行している中、洞峰公園のような誰でも気兼ねなく利用できる公園は多くないので、元来通りの利用を望んでいます。

グランピングの施設としての開拓の発想は私もいいと思いましたが、他地域の来客を考えると治安維持の観点から賛同できかねます。

鳥の様子や、公園内の虫、沼の魚など、たくさんの動植物との出会いが子どもたちにとって良い影響を与えていると思うから

東京育ち、主人の転勤により海外を転々とし、帰国した時の勤務地がつくばから近く、日本語が弱かった子ども達に市内全小学校が帰国子女受け入れ校というのがきっかけで、田園と都市が共存していて公園のようなつくばに魅力を感じ、つくばに居住を決めました。またつくば市に住んだことがある、また人伝えにつくばの公園や環境のことを聞いたことがある、と言う外国人が東京よりつくばの方が私達家族が帰国するにあたって強力に勧めてくれたことも居住したきっかけです

つくばに住んだことがある外国人が洞峰公園を愛し、心の拠り所としていた理由が25年ほど住んで利用し、良くわかりました。

自然に近い状態で整備され、そこには高い樹木、渡り鳥や希少な植物が自然に近い状態で存在。

育った東京には整備されたたくさん公園が沢山ありますが、都会にこれだけ自然に近い状態で静かな公園はありません。東京からも毎週洞峰公園を撮りに来られている方もいらっしゃいます。

箱モノを作ればいつか古くなり、人は去っていきます。特に何も（グランピング等）無いから老若男女誰もがいろいろな理由で訪れることができるのだと思います。

洞峰公園は、筑波研究学園都市のシンボリックな公園です。

都会にあり、高い土地に位置する、東京の日比谷公園、水戸の千波公園にグランピングが必要でしょうか。

贅沢ですが、洞峰公園には今のままであって欲しいと思います。

維持となる資金が問題なことは承知です。プール、駐車料金の値上げも多少致し方ないかと思えます。プールを学校の授業で使ってもらうとか。老若男女、身体の不自由な方も利用できるアスレチックを増やす。

イベントを増やして魅力的な公園をもっとたくさんの人に知ってもらい、沢山のの人に利用してもらおうなども良いかと思えます。

筑波台地の貴重な状態が残されている場所です。むしろ地域の自然環境の保全や復活に力を置くべきだと思います。隣接する敷地を所有する機関との連携も必要だと思えます。

公園とは地域住民にとって憩いの場であるべき。憩いの場であるための条件は樹木等の自然環境が整っていることである。洞峰公園は以前近隣に住んでいた時によく利用したが、美しい樹々の景観が素晴らしいと思っていました。そのような公園をこれからも維持することが近隣住民にとっての福祉に資するものだと思うから。

社会が繁栄発展し、より社会が実現するためには、科学技術の進化や高度化は欠かせないもので、それを踏まえて有りとあらゆる物事の実態や方法論は継承すべきか、或いは発展的に解消・見直しすべきかを常日頃定期的に確認する必要がある、その判断がとても重要です。

はたして、洞峰公園（筑波研究学園都市の公園緑地計画）の基本方針を変えるだけの強いインセンティブが何かあるでしょうか？

つくばに研究学園都市を形成し、その一環として都市公園としての洞峰公園を整備しようとした当初の思想を思い起こした時、確かにわが国の置かれている社会環境や国際社会におけるパワーバランスはだいぶ変わっております。そして残念なことに日本の科学技術水準は相对比较において諸外国に劣後してきているのは事実です。だからといって、そのことが、この基本方針を変えるべきであるとする理由になるのでしょうか？

科学技術の強化は、わが国の重要課題であり、つくばはその象徴的な意味を持ちますし、日本をリードしていく役割がありますが、そこには、必然的に洞峰公園という有形・無形の自然環境資産が含まれていると解するのが自然であります。それから、設問の仕方にも工夫が必要かと思えます。仮に本当に変えるべきかと思っている人がいれば、そこには自発的に何をどう考え従ってどのように変えるべきと言う理由や明確なビジョンがあるはずで、一方、今回の設問のように変えるべきか、変えるべきではないかというように漠然と二択で問うた場合、そもそも全く自発的に考える意図も意欲もない人に対して、なんとなく変えた方が良くはないかといった否定的な意見をいわずらに増やしかねないことが懸念されます。

市中心部にありながら、洞峰沼を中心に様々な樹種の林、広場がレストハウス等が市民に憩いの場を提供している。小さなお子さんから高齢者まで多くの人が訪れている。散歩したりジョギングしたり、あるいは遊具で遊んだり、広場でボール遊びしたり、である。愛されている公園の現状を変更する理由はないと思う。

スポーツを主体とする動的レクリエーションの場にこだわる必要はないのではないか。むしろ、スポーツや運動施設は現在検討されているはずの市営競技場エリアで実現すべきではないか。

一方で、プール・体育館などの施設の運営には、経費の問題があらうことは想像できる。県が無償で手放す理由もそれだろう。効率的な運営方法や利用者負担の見直しなど、市の負担を軽減する方策は検討する必要があるだろう。しかし、バーベキュー施設や大規模な遊戯施設など、公園の性格を大きく変容させる計画には反対だ。その意思は多くの市民から明確に示されたはずだ。

つくば駅周辺の開発が進むなか、基本方針を維持して緑豊かな景観や生態系の維持につとめ、子供を育てやすいというつくば市のブランド力向上に努めるのが適切だと思います。

遊具の豊富な公園がつくば市には少ないので、子どもも大人も安心して過ごせる唯一の公園だったから。

他の公園は遊具が古く壊れて危険であったり、大人が立って見守るしかない場所であることが多い（ベンチも少ない）。

維持管理の必要経費として駐車料金を高く設定してもよいと思うし、船橋アンデルセン公園のように中身をさらに充実させ入場料（市民は安くなるパスポート等も必要）を設定してもいいと考えている。

BBQやグランピングは、もっと自然の中でやれば良いので洞峰公園はそのままだがよい。自然を感じる豊かな公園を維持することは金銭以上の価値があります。

市民の健康増進にも寄与しており、計上されていない隠れた利益もあります。

若い人のために自然を残して欲しい

生活圏に存在する自然を大切に守ってほしい。もちろん近隣住民も大切に今の自然を守っていく

豊かな自然の中を鳥やセミ、虫の鳴き声を聞きながら、散歩したり、池の鳥や魚を鑑賞したり、樹木の生長を見守ることができるから。

新都市の公園緑地計画の基本方針はつくば市の都市計画の中で重要な位置付けの一つであると思うので。

住宅地に広がる自然公園は価値あるもので、新しく作り出せるものではないと思う。

緑の公園としての価値は大きいと考えます。春の若葉、夏の木陰、秋の紅葉、冬の枯れ葉等四季の変化を楽しめます。街中にもかかわらず。

子供達が散り敷いた銀杏の葉を拾っては投げしている平和な風景がいかに大切なものかと思う。金銭問題は解決せねばならないとはいえ、はじめに意図された設計を保全することが我たち市民の配慮にもなると思う

地域の特性を活かした自然に近づける公園が町の中に有るのはとてもいいことだと思う

つくばから世界へ、SDG s 地球温暖化対策にも誇れる公園。つくば学園都市のシンボルの1つ

緑の核ってかっこいいと思ったから。

維持費を除いて、つくば市の中央でキャンプとかありえない…と思っていたので市が管理していくなら市民の意見を取り入れてほしいなと思った。憩いの広場として利用など。

テニスコートを利用していますが、素晴らしい基本方針を継続して、公園環境を守ることが必要だと思います。

樹木がきれいに植えられていて池もきれいで、プール、多目的広場、アリーナ等がきれいでスポーツもできるとも良い公園だと思うからです。

This project has no problem

1980年の建設当初から継続してきた基本方針を変えることは、何の効果もなく、もはやマイナスなイメージを与えるまでであると考えたから。
何よりも今まで樹木が保存されてきていることは重要なことであると思います。環境保全することで地球温暖化防止にも寄与できます。計画当初の基本方針を継続し、今のままの洞峰公園を次世代へと続けていくべきだと思います。
今の環境が何十年もの月日で作られてきたから
現在の四季を楽しめる緑豊かな公園であってほしいため
地域住民の気軽に行ける場としてみんなが集まれる場にしていってほしいから
長い時間をかけてできたシンボル空間を壊すことなく維持してほしいので。
公園が設置され43年が経ち、つくば市民にとって洞峰公園の樹林帯は癒しの場として認知されていると思います。今の景観を保つことを望みます。
現在、つくば市はどんどん開発が進んでいっている。その中で洞峰公園の自然は今では貴重な既存の樹種を残しており、つくば市&つくば市民にとってとても価値のあるものだと思うので。
公園施設維持のための（グランピング施設等）計画もわかる部分はありますが、場所や公園の利用方法等市民の声を聞いてほしい
今のまま景観がとてもよいと思う。ぜひ保全してほしいと思います。動物昆虫そのまま生活させてやりたいです。赤ちゃんからお年寄りまでゆっくり楽しめる公園であってほしいです。
生態系、自然環境が豊かですすでに市民のいこいの場として十分機能しているため。
開発が進むつくば市内の森林保全、SDGsの視点からも新しいものを造設するのではなくいかに維持していくか、また市民参加、市民共働の公園になっていくとより一層愛着が湧いていくと思うため。
洞峰公園は地域社会に密着しており、家族、サークル等、幼児から高齢者まで親しまれている。この広く豊かな自然環境を維持することが大切
本当に貴重な荒れていない自然たっぷりの公園。キャンプなど言語道断。食べ物を持ち込む人がなくてBBQ反対。皆ちゃんと礼儀を守っているように思う。市税をこういうところにたっぷりつかってほしい
約40年前に二の宮に移り住んだ。現在はよく歩けないので余り出向かないが、そうなる前は自身のと歩、ランニングの場として、散歩の場として利用した。孫にとってはアスレチックや水場と遊ぶことが楽しみであった。現在は車いすの妻を友人が散歩に連れ出してくれる。という風に身近に自然を利用させてもらった。
都市化が続く中で自然は人が生き、考え、歌い、悲しみをいやすのに必要なので
幼い頃から慣れ親しんだ、大切な公園なので変わらずあってほしい
現状の樹木の密度などがよろしいと考えています。私の利用は朝、夕にこの公園を散歩することが主です。
今の洞峰沼の景色が楽しめるので自然環境を守ってほしいです。新都市記念館前のクスノキが日本の古木に選ばれることを願っています。洞峰公園のシンボルと思います、由来が示してないので残念です。
・都市化が進んでいる洞峰公園付近は緑がどんどん減少しています。 ・周辺環境の変化を考えると、公園の樹木の保全は目先の利益にまどわされるころのないように優先的に考えていく必要があると思います。
公園を活用させていただいて、特に問題なく、今の状態が良く、また景観保全を継続していただければと考えています。
(1) 駐車場増設予定地は、毎年トチノミが落ち、フクロウが時折(2023.11.23にも確認)鳴く場所であり、貴重な樹林であるため、そのまま保存して欲しい。 (2) セイタカアワダチソウ等の外来種の侵入が辛うじて抑えられているのは、地域の方々の地道な努力の賜物である。パークPFI事業は地域に調和するとは到底思えない。 (3) 野球場に穴を開けるのは、モグラと産卵するアカミミガメであり、ヒトでも散歩中の犬でもない。「汚すな、乱すな」の張り紙をしておきながら、酒を飲み騒ぐ場を作るのは「汚せ、乱せ」を推奨しているようで、怒りすら覚える。
立地条件も広さも申し分なく、多植物(木々)、鳥も多様なのが見られ、散歩やジョギング、スポーツ施設の利用者も多く、小さい子から高齢者まで多様な人が親しんでいる公園だと思うので、変える必要性は感じない。
つくば市も緑の公園が減ってきています。もっとゆとりのある町だったと思いますが残念です。せめて洞峰公園は緑のある公園でいてほしいものです。
つくばの中心部でマンションが乱立し緑豊かな学園都市というには程遠い街並になってきている。しかし、洞峰公園地区は緑自体は維持され、整備され、街全体のイメージはそれほどくずれてはいないのでこのまま貴重な森を残してほしい。
つくば市内にあった空き地や栗畑、芝生畑など次々と住宅地になり、自然や緑地が激減している。安全性は考慮しつつも大切に環境を守ってほしい
このような素晴らしい公園がせっかくあり、住民やここに来られる皆様が自然環境の良い状態で安全安心にスポーツやレクリエーションが出来る為、望ましい。
洞峰公園は変わらない「いやし」の場所であって欲しいと思います。古い樹木にも愛着があります。

近隣の公務員住宅が民間になり解体され造成地となり一戸建ては増えたが、公務員住宅時代の豊かな樹木が倒され、緑が減ってきたと感じるから。
埼玉県から転勤でつくば市民に41年になります。家が近いので散歩、プール、毎日のように公園に来ています。一年中、特に秋は素晴らしい紅葉で今までの洞峰公園をととても気に入っています。
出来るだけ自然公園にして欲しい
昔から自然を大切に保存し継続して残してきたつくば市の有様は他の地域ではなかなか見ることはできない、価値あるものです。大切に末永く残していただきたい。当初このような町にしようとイメージして下さった人に感謝します
公園緑地の管理には多大な管理費がかかるが、公園は市民の憩いの場であり、特に洞峰公園の景観は美しくつくば市のシンボルでもあるから
つくば市の特徴であり、他市に誇れる財産である緑地は可能な限り自然の状態を維持し、未来に残すことが我々の使命である
可能な限り、自然の姿を維持することは重要です。その中でスポーツなどの活動がストレスなくできることは現在の環境のなかでは重要だと考えます。資金、それまで努力して維持してきた環境を壊すことはするべきではない
洞峰公園は県内でも有数の自然が多く残された公園です。ご存じの通り多くの野鳥、ウサギ、タヌキ、蛇たちが生息しています。どうか知恵を出し、この素晴らしい公園をこの理念とともに残していただきたい。
市民・利用者へクラウドファンディングを呼び掛けてはいかがでしょうか。
緑の多いつくば市の中でもすでに残り少ない希少な場所となっている。
下手なレクリエーション施設を作ってもいづれなくなるだろう。
研究学園都市の住民には憩いの広場として幼児から高齢者までが利用できることは素晴らしい限りです。市の方針に全面的に賛同します。
毎日歩いてもどこかに変化があり自然の有様の素晴らしさを肌で感じています。20年ほど毎日歩いても飽きることはありません。とても素晴らしい公園です。
老若男女が無料で憩える公園は茨城県にはないと思っております。
私達が引越して来たころはそれはそれは淋しいところでしたがこの自然を求めて若い世代がまわりに住み始めている→それは公園の自然が素敵だからです。
近所の公園なのでできれば今まで通りテニスコート プール ジョギングコースは利用したいです。草、花、木にも興味がありますので維持してほしいです。
県がこれからも洞峰公園を管理することも、パークPFI事業にもほとんど懸念は感じておりませんでした。そもそも反対されていた近隣住民という方の素性が明白ではありません。これを市民の代表的意見のようにおっしゃる市長に無理があります。自然の保全は大切なことではありますが、自然との共生、また、公園の維持管理、これからもこの充実した施設と利用しやすい各種施設やクラスの料金設定のバランスをとらなければいけません。
すてきな公園を安っぽい公園にせずかちのあるまま残す為には自然を守る事。子供達のあそぶ場所をうばわない事です。どうか今のままでよろしく願います。
自然環境を大事にしたい。TX沿線でもつくばは最後のとりでになりつつある。
既存の樹林樹木を可能な限り残し、地域の自然環境に調和するように配置する
自然が多く散歩していても気持ち良いです。今の景観を大切にしつつ、新たな取組をしていくのが良いと思います。
都市のグリーン軸として！残してほしい
今社会をみていると"SDGs"などを言いながら環境のことなど考えていないようだ。その背景には、利益を考えていると思ってしまう。
市内でも比較的大きな立派な公園なので、今までの基本方針に誤りはなく継続に維持管理すべきと考えますが、災害時対応にも極めて有効利用なので、更に有効利用に繋がるものであれば、その時、見直しをする等柔軟にすればよいと考える。

## 基本方針を見直したほうが良い

市の管理になるのであれば、今のままというよりも、先を見据えて見直しも必要だと思う。
緑もあり遊具や散歩道もありいいが、使われていない所も多くあると思うので市民が必要としている物に使うのはいいのではないか。つくば市の市街地でパーベキューするより、遊具で遊ぶのが終わった子ども達も使えるスケボーパークやパターゴルフ、フリスビーゴルフ、アスレチックなどがあるとまた行くようになるのでは？と思う。



<p>方針を変えるのではなく、一部分を見直し収益が上がるような施設等を作るのが良いと思います。</p> <p>グランピングのような24時間利用するものでなく、また酒類や火気の使用のない別の活用方法はないでしょうか。保全のために財政を毎年赤字で行うまですることでは無いと感じます。</p>
<p>『洞峰公園の有効活用と未来計画について』考える会を発足して市民同士で提案や意見交換をして公平に進めていただきたい</p>
<p>しっかり管理されるのであれば樹木樹林の維持でよいが、洞峰公園だけでなく、他の公園も含めて木が雑然と残っていて、管理が行き届かず、夜間等は暗くて鬱蒼とし、安全性に疑問を感じる。</p> <p>周辺には自然が豊富にあるので、明るく清潔感安心感のある公園にしてほしい。</p> <p>研究学園駅前のような公園の方が良い。グランピング施設は不要。</p>
<p>無償譲渡に反対です。</p> <p>一部市民が「公園の自然を守れ」とか言っていますが、年間の巨額維持費につくば市税金が使われることをわかっているのでしょうか。</p> <p>洞峰公園は茨城県管轄で、新たな価値やお金を生み出す仕組みにしていく方が良いです。</p> <p>つくば市に税金を払っている納税者として無償譲渡に大反対です。</p>
<p>2) 公園として魅力的なら、郷土樹種を優先したり、地域の自然環境に合わせなくてもよいと思う。</p>
<p>あまり利用されていないような施設の場所に新たにレクリエーション施設等を新設してほしい</p>
<p>これからの需要に合わせて、変えていくのも良いと思います。</p>
<p>つくば市の施設として考えた際、必要なのは子どもがのびのびと遊べる公園が欲しい。そのためには大型のアスレチックの設置、駐車場の増設が必要で、全ての樹木を保全する必要はない。</p>
<p>基本的に現状のみが好ましいのですが、駐車場を拡張しても良いかと思います。団体が利用できるようなになれば、広場や体育館の需要が更に伸びるでしょうし、地域イベントの開催地としても活用出来るのではないのでしょうか。</p>
<p>洞峰公園は、いろいろな動的レクリエーションの場が好ましい。</p> <p>ただの鬱蒼とした公園になってしまうのは勿体無い。一部の高齢者は、公園に行くことが目的にはなるが、若い人からすれば、公園でアクティビティを楽しむことが求められる。県の提案に対して、一部の反対者の意見が通ってしまったように思われる。財政、維持費、将来性も含め本当に知恵を絞ったのか？市民に説明するべきである。</p>
<p>樹木の保全だけでは市の負債になるだけである。施設も古くなっている。活用方法を考え、公園自体で市民に利益をもたらすものにすべき。</p>
<p>つくば市には自然豊かな公園は沢山あって、また、周りのつくばの市内の景観だけでも季節の恵みさかんじられているので、何か洞峰公園には他の公園にない物が未来のためにはあった方が市の発展にも繋がる気がします。</p>
<p>都市の緑地計画とは、あくまでも 都市の 緑地計画であって、都市に住む市民の需要に応じて柔軟に改変されても良いと考えています。本当の意味での自然は研究学園都市の外に沢山あると思います。頑なに都市の中の樹木を残すよりも、都市の中の公園としての価値を高める方向に舵を切っても良い時期かもしれません。元々は道路も住宅もほとんど無かった自然を切り拓いて研究学園都市が作られました。その中で沼地だった場所を切り取って洞峰公園は整備されています。周囲は道路や住宅や研究所などに囲まれて、ポツンと残った洞峰公園の樹木を維持することをもって生態系の保持だと訴えるのは、都市に住む人間のエゴの中での自然保護だと見えます。</p>
<p>つくば市全体で緑地、森林が減少していく中、都市緑地としての洞峰公園の存在は大きいものである</p> <p>その中で、ナラ枯れ・今後侵入してくるであろうクビアカツヤカミキリ等の侵入外来種に対して「既存樹種」という従来と同じ体制では緑地を管理できない可能性があり従来の方針より積極的、重点的、柔軟的に緑地の基本方針を変えていく必要がある</p> <p>従来の方針のままでは、利用者の利便性・金銭的収支・予算等で洞峰公園のみならずつくば市の公園緑地を管理することが困難になる可能性があるため現在の方針をより強固な形にするよう改善することが望ましい</p>
<p>基本方針は立派で、自然環境も良いとは思いますが、多額の維持管理費を負担してでも堅持すべきとは思わない。</p> <p>洞峰公園まで1 km程度の距離に居住しているものの、頻繁に利用したいと思うほどの魅力は感じていない。</p>
<p>時代は変わるため、その都度方針を時代に合わせて変えているのは素晴らしいことだと思う。見直しは必要だと思うが、大幅に変えることはないと思う。見直しをするかどうか検討することだけでも価値があることだと思う。</p>
<p>緑の核として地域にあり続けて欲しいですが、スポーツやレジャーの場としても良いと思います。</p> <p>人々の憩いの場、スポーツを楽しむ場であってほしいです。</p>
<p>つくば市民が利用しやすい公園となる様に計画が実行される事を願います。</p>

<p>また住民投票すれば良い。</p> <p>また前みたいに賛成か反対にしてやれば、必ず反対になる。</p> <p>こんなの譲渡されるくらいなら総合運動公園の方が何倍も良いわ。</p> <p>無駄な市税を垂れ流すな。</p>
<p>より良くなるためには一度見直さなければならないから。スポーツ公園としての良さだけでなく、豊かな自然を守るための活動も大切だから</p>
<p>洞峰公園は、自然豊かで、子供達の小さな時から、遊びや習い事でお世話になっており、大好きな場所です。しかし、無償譲渡後には不安があります。無償譲渡されたとして、今後今まで通りに公園を維持していく為には、大変な費用がかかると思います。それは市の予算で賄うのでしょうか？生産性のある公園にしていかなければ、難しくないですか？是非、生産性ある公園に生まれ変わり、公費負担なく運営して欲しいです。学校の役員をして知りましたが、市内の小中学校には、必要なものを申請しても、なかなか購入して頂けず、壊れたロッカーや机などを使用しています。公園を維持する予算があるなら、もっと子供達に予算を使って欲しいです。</p>
<p>洞峰公園の自然が好きだから</p>
<p>既存の樹木の保全に経費がかかるのであれば、時代の流れに沿った形で保持していけば良いと思います。</p>
<p>上記1～3の基本方針は人造物開発計画にシフトせず留めたほうが良いと思われるが、設計当時から年月が経って、公園法や外来生物法や種の保存法といった自然環境に関わる法律が変わり、また生物多様性国家戦略2023-2030が決定されていることを鑑み、時代の変化に応じた新たな方針を再考すべきと考えるため。</p>
<p>これらの基本方針が、どのような時代や環境下で制定されたものかわかりませんが、古いものなのであれば、改めて見直しをすべきだと思います。</p> <p>その結果で変える必要がなければ踏襲すればよいですが。</p>
<p>独立採算となるようにすべき。なぜ近隣住民のために税金が使われるのか、理解ができない。</p>
<p>県の施設を市が維持管理することへの負担についての懸念があるため。</p>
<p>融通が効かないのはこまる</p>
<p>暗くなるのが早い冬場には、鬱蒼としていて危ない。植物の維持費がかかるから。</p>
<p>公園や緑地を維持していく街づくりには賛成ですが、洞峰公園は歴史があり中心地に位置する公園でありながら、近隣住民や特定の方などに利用者が偏っていると思います。洞峰公園は近隣公園的な位置づけでは無いと思います。この規模・施設を今後も維持するのであれば、もっと遠方の市民も含め市民全体が利用しやすい公園となる要素を取り入れるべきだと思います。</p>
<p>管理コストの軽減。</p> <p>駐車場整備など公園の規模とアクセスインフラのまでバランスが悪い。</p>
<p>税金をなるべく使わないようにしてほしい。</p>
<p>バーベキューも出来ない公園って公園？</p> <p>スケボーもローラースケートも可能にして欲しい</p>
<p>研究学園都市建設時と現在では内外の情勢は変化している。基本方針をいじりたままでの見直しは必要だと感じている</p> <p>グランピングは都会の喧騒から離れ自然を満喫しながらホテル並のサービスや設備を利用するのが目的です。</p> <p>その開発に対して環境公害を考えてのことか…利便性の追求ばかりで人間らしさの損失を招くことを考えてほしいです。</p>
<p>総合運動公園計画が白紙化されたことで、市内のスポーツ施設不足問題が残存したままとなっている。洞峰公園にはスポーツ施設としての役割を付加（増加）してはどうか？その意味で自然を残すばかりでなく積極的な改修も考えてはどうかと思う。</p> <p>またこのような議論やアンケートをとるとお金をかけない方向へと流れがちで、結局古臭い施設を使い続けることになり市民の気持ち（ワクワク感）は高まらない。思い切って舵を切るタイミングではないか。</p>
<p>つくば市地域活動連絡協議会の事業で、毎年市内約100か所の公園と遊具を点検し、点検結果を報告しています。</p> <p>筑波研究学園都市が出来て半世紀、ほぼ同時期に老朽化が進んでいるように思います。</p> <p>自然豊かなことは良いことかもしれませんが、防犯の観点からすると非常に危険な公園が多いと思います。</p> <p>市民が安心安全に利用できる公園として、育ち過ぎた樹木の伐採などは適宜必要であると考えます。</p> <p>また、災害時には避難所や支援拠点となることも考え、施設の整備も必要です。</p>

<p>大規模補修工事・維持費の財源確保の確保の為にグランピング施設を建設していく、周辺住民から、騒音問題・森林伐採の懸念から県に要望書を提出。県はつくば市に無料譲渡を提案された。つくば市は、大規模補修工事の予算がない為に、その都度補修工事をして利用していくと聞きました。洞峰公園以外の公園でも、補修工事がされず朽ち果てていく公園があるのが現状です。つくば市で、現在の状態が維持できない、保持することが出来ないのであれば、譲渡をせずに県主体で補修工事をしていけばいいと思います。私は、洞峰公園を利用したことはありません。なぜなら、駐車場が狭く・駐車料金が発生するからです。洞峰公園を利用しているのは、周辺住民が多数の為、その住民から補修工事費を貰えばいいと思います。つくば市が洞峰公園を現状の字で維持することが難しいことを周辺住民に説明して、県が補修工事の予算を作り出す為にグランピング施設を作るのを納得してもらいたい。無料譲渡をせず、県主体で事業を行ってほしい。森林伐採は、つくば市でも住居建設で進行している。今更つくば市が森林伐採を非難しているのは、可笑的。</p>
<p>利益にならないものを存続する意味がわからない。 住民の健康等考えるのであれば遊んでる無駄な土地を多少の有料でも本格的なアスレチックやボルダリング等現在の利用者の客層を広げるべきだと思う。 大事なものは現在の利用者数を伸ばさない限りは存続は難しいと考える。</p>
<p>ランナーや自転車が多くゆっくりと散歩できないため</p>
<p>収益化も視野に入れた運用により、つくば市としての負担を減らすべきだと考えます。上記運用と公園としての景観は両立が可能だと思いますので、丁寧な事業者選択をお願いします。</p>
<p>基本方針は学園都市の整備時期に策定された内容でありその時点では適切であったと考えますが、学園都市の概成から時を経て学園都市として整備された地域の状況にも変化が生じております。 現況に合わせた見直しが必要だと考えます。</p>
<p>特に何も変えないと、自然は豊かだが特に何の面白味もない公園のままだと思います 休日にはキッチンカーを入れたり、それに付随するゴミ箱を増やしたりしてもらいたいです。 野球場も使われていないならドッグランのスペースにするなど対策が必要かと思えます。 BBQやグランピングは行き過ぎですが、駐車場を増やしたりドッグランを設置する案は良かったと思います。 あとトイレが古いので改修していただければ利用しやすくなると思います。 市内の林をどんどん切り開いてソーラーパネルが置かれるようになった。</p>
<p>一部の公園だけの緑を守ってどうなるのだろうか？ ソーラーパネルを置こうと伐採しても、地域住民の反対でストップし、 また、雑草が生えて、今度はそれを管理する人がおらず、道にはみ出す。 管理者はそもそも高齢化で管理できなくなるので、ソーラー化を狙ったのではないかな？ もっとこういった現状を踏まえて、市全体の緑化をどうするのかということ考えたほうがいいと思う。</p>
<p>筑波研究学園都市の公園緑地計画は譲渡移管後に再度見直されたほうがいいと考えます。 基本概念は現状維持、固定でいいと思いますが、基本計画の内容が時代に沿っていないと考えます。 今後の事を考えると、市民(緑化推進派、年配以外)が中心に考えてもらうことが専決であることを考えます。</p>
<p>生態系の保全が優先されるべきであると考えます。スポーツ主体の動的レクリエーション施設は、維持管理の観点からも、最新設備を整えた新規事業として他地域などで検討するのが良いのではないのでしょうか。</p>
<p>面積がかなり広いので、工夫して一部を有効活用することは可能と考える</p>
<p>今でも駐車場が混んでいるときあり。施設を増やすなら、駐車場の整備もお願いします。</p>
<p>管理にコストがかかるため、必要時に樹木の伐採などを行いつつ、管理していくべきだと思う。</p>
<p>他市町村、他県からみて魅力ある収益性のある施設を導入してほしい。</p>
<p>せっかくの保全された自然が、近くの人しか利用できないのはもったいないと思う。グランピングはわからないが、以前からゆかりの森のキャンプ場や少年の家のように、宿泊しながらじっくりと自然を探求し楽しむ場が必要ではないかと思っていた。 時代が変わっていくとともに、市政方針は変わっていくように、公園緑地計画も変えていきながら、どうすれば多くの人たち、とりわけ子どもたちにこの洞峰公園の美しい環境を身近に自分ごととして感じてもらうかそのための最適な利用計画を変えていくべきと思う。</p>
<p>駐車場が有料となり、他の公園（遠方・無料駐車場）に行くことが多くなりましたが、つくば市も車社会なので公園だけでなく市の中心（つくば駅）にも駐車場が必要。 洞峰公園ではプール・テニスコートの利用者は多いけれど、大きな広場は人影も少なく遊歩道を散策・ジョギングする人がちらほらです。 行きやすい環境（駐車場）にレジャー施設が増えれば利用者も増える という観点で整備して下さいつくば市の中心部（つくば駅）付近では過疎化？でデパートで撤退などもあり、昔の賑わいが無くなりました 洞峰公園でも公園全体を見れば利用者が減っていると感じているので若者が集まれる施設が欲しい 税金を投入・維持管理するのであれば利用効率を上げるや、非常時対応の施設（食料。資材）等での有効活用も考慮して下さい</p>
<p>現状維持では、つくば市の魅力が向上されるとは思えない。</p>

<p>野球場のように上記の文言に沿っているとは思えない施設もある以上、形骸化していると考えられる。それならば駅から比較的近い大規模公園という特性をより活かせるように基本方針の刷新も含めて議論すべきであろう。茨城県が原案として出したBBQ場やキャンプ場などを作るでも良いだろうし、小型の動物園や大人でも楽しめるようなアスレチックなどを作るでも良いだろうし、つくばらしい科学に関わる新しい施設を作るでも良いだろうし、いづれにしても洞峰公園自体を目的として市外からも人が集まるような仕組みを新たに作るべきであろう。</p>
<p>ワニガメが生息したほど、ピオトープに近い自然環境が保全されています。現在の樹木と池を残すとともに、市民の交流のための体育館、プール、野球グラウンド及び芝生の広場の保全をよろしく願います。これ以上のスポーツ施設は不要と考えます。</p>
<p>洞峰公園へ徒歩数分の所に約40年間居住しているため日常的に散歩や孫達が訪ねて来た際にも必ず利用させてもらっている。</p> <p>日常的に利用している者として余りに利用者が少なく勿体なく感じている。紅葉時期などは多少増えるが年を通しては僅かであると感じる。</p> <p>つくば市がメンテナンス資金も捻出できないのに茨城県から無償譲渡を受けるなど我々の様に近隣住民を優遇するだけで広いつくば市民から大きな不満が出るのは必定と思う。</p> <p>当初の茨城県の方針通りグランピングなどを設けてつくば市周辺はもちろん県外からも訪問したいと思える魅力ある公園に是非してほしいです。</p> <p>グランピング計画のあった野球場も実際はほとんど利用されておらず樹木も一般的な物ばかりで特に保護すべ樹木も見当たりません。</p> <p>安易な公園保護政策は絶対やめるべきで茨城県で管理運営してもらおうのがつくば市民にとって最もよい対処です。</p> <p>いつまで緑、緑言ってるんだよ、緑ならつくば市いっぱいあるだろう。</p>
<p>夜になると暗過ぎるため。駅周辺との差が激しい。つくば市全体で考えると洞峰公園周囲は防犯上物騒なであり、古いため。都市開発に貢献すべく地域だと考える。</p>
<p>自然だけでなくスポーツを主体とする動的レクリエーションの場の維持向上や飲食可能な場を提供して人の集客性を高める必要がありそれを新しく方針に盛り込むべきと思う。</p>
<p>現状保全は有意義な側面もあるが、継続性を踏まえ、将来に視点を置き子供達など若い世代にとってあるべき姿にも主眼を置いて方針は定めるべき。</p> <p>現状の課題に目を向けず根拠のない現状保全では納得性がない</p> <p>特に、かかるコストが今後の若い世代の負担が及ばない施設整備と管理の方法を見出す姿勢が不可欠と考えてます。</p>
<p>つくば市内には、洞峰公園のみならず多くの公園があり緑豊かな環境である。</p> <p>また、各地域にある公園は緑豊かであるが、街灯が少ない、遊具が乏しい、ベンチの老朽化の放置など管理面で充分とはいえない。</p> <p>また、当初の目的にこだわるよりは、人が集まり緑の中で快適に過ごせる場所になるよう設計するのが、より良い使い方だと考える。</p>
<p>つくば市郊外に行けば自然豊かな山や川等があるのに敢えて、つくば市の住宅地商業地に自然な公園を整備する不自然さ。</p>
<p>「新都市の公園緑地計画の基本方針について」とあるが、設問の中にこのような"新都市の～"という文言が出てきていない。「筑波研究学園都市の公園～」が"新都市"と同一であるか否かが不明である。設問自体が成立していないので、設問自体を見直した方が良い。</p>
<p>保全と言う名目で、ただ変化を嫌っているだけ。</p> <p>ドラスティックに今の時代に必要とされるモノへと変革するためには、足枷にしかならない。</p>
<p>時代のニーズに合わせて見直すことは必要</p>
<p>車の駐車場不足で 渋滞や近隣の住人への被害は、改善して頂きたい。プールは、更衣室が匂いますので改修改善もご検討下さい。ペットの対応も 考えないと 立ち話などでランナーさんが走りにくそうです。自然の維持は、キープすることではなく変化、成長も考えてあるのでしょうか？上記の理由で少し方針お考え下さい。</p>
<p>より魅力的なつくば市を目指し、人を呼び込むには大きな変革が必要だと思えます。</p>
<p>自然共生地域づくりの拠点としての活用ができるように期待します。つくば市には、自然環境関係の研究機関も多く存在しております。国立環境研究所をはじめとして、森林総合研究所など昨年度から推進している、我が国の30by30アライアンスの活動を牽引する機関もあり、その他、農林水産総合研究所や気象研究所その他多くの自然環境関連研究所が活動しております。今後、2050年を目途にネイチャーポジティブやカーボンニュートラルを目標に、国の総力を結集した活動を推進するための拠点としての機能を有している研究機能を、地域づくり活動に展開することが望まれます。</p>
<p>環境保全を重視過ぎるのではなく、人々が快適に利用できるように、管理された公園を希望するから。</p>
<p>作られてから時間が経過しているから。時代に合ったものにすべき。</p>
<p>現在の価値観にあわせて、必要な修正は必要である。</p>
<p>公園施設、樹木の保全に関し、掛かる費用・住民負担の負担の増額を鑑み、時代にあった公園の施設の在り方を検証、施設等の更新を目指し、広く住民のニーズに応えられる公園施設に更新し続けることが必要。</p>
<p>以前、公園前の県営住宅に住んでいましたが、鳥の糞害、臭いなどの被害があり引越しをしました。</p> <p>公園緑地も大切ですが、近くに住宅もたくさんあり、そこで生活してる人々にとっては住宅街に大きな森が出来ては迷惑なのではないでしょうか？また休日などは多くの公園利用客が自家用車で来る為、交通量が増え公園近くに住んでいながら静けさなどなく騒音でしかないです。</p> <p>公園の規模のわりには駐車場が少なく、停められない人たちが駐車場を探してウロウロと走る姿もあります。</p> <p>市民がスポーツを気楽に楽しめるような施設を作った方が良いと思います。</p>
<p>大通り側は整備されているが、反対側は自然というより放置されているように感じる</p>

自然を生かした公園は他にも多い。他と違う公園がほしい。
全て大反対です。もう少し頭を使って対応すべきでしょ。お金のムダです。
私は、つくば市が茨城県から洞峰公園の無償譲渡を受けて多額の維持管理費を負担することには「大反対」で、今まで通り茨城県に維持管理をまかせるべきだと考えているから。
維持管理費のきじつがなし
洞峰公園の存在を知らない人が多いのではないかもっと有効的に使用する多くの団体等に使用を促す
当初の樹木を保全する基本方針は十分に達成でき、今、次のステップに移る時期と考える。このまま樹木保全に力をそいでも、野球場の時計はこわれて時が止まったまま、テニスコート脇の女性用トイレは和式のみ、夜は暗くて歩けない、このような状態でも樹木の保全が守られればそれで良いとする考えでは、公園がボロボロな林になるだけ。
1)は現状に即してない。既に各公園において多すぎる樹木の伐採が行われ防犯などにも留意されている。 地球温暖化の影響などもあり、今後ともこれらの方針を維持できるのか？等、変えないにせよ見直しの検討の必要性はあると思う。
コート使用料金の見直しで他の設備等を整理する
現状維持したい気持ちは理解できるが、経営的に困難であれば民間委託も選択肢かと考える。PFI事業はそのような検討から出てきたと理解している。
樹木等も古くなり、ある程度は整理していったほうがよいと思う。樹木が多いと思う（つくば市の公園も）
時代にあった使用を考えて欲しい
税金の事も考えて欲しい（経済的にも）
今の環境を守りながらも、市民が便利に利用できる施設に作り変える
維持が困難な状況なので、再度検討した方が良い。

## どちらでもない

緑の核となることは良いと思うし、こういった大規模公園が連なっているのはつくば市の特徴、魅力のひとつだと思います。 ただ、自転車ですら15分に居住して、子供の遊具遊びや自らのスポーツ講習が主な利用用途である自分としては、1)～3)の大事さをそれほど意識したことはありません。意識はしないけれども、1)～3)を見直して新たな方針の案があるかというところでもないため、「どちらでもない」を選択しました。
自然は残すのが1番とは思いますが、未来に向かって変えられるところは変更し有効活用した方がいいかと思っています。貸出すことで利益も得られ整備費用にもできるのではないのでしょうか、また近隣にお店も少なく、買い出しなどを考えるとあの周辺を活性化させた方がいいかとも思います。
方針が曖昧で玉虫色で分かりにくい。
市民にお金がかからないようにしてくれたら、いいです。市民税の値上げはやめてほしいです。
公園の維持管理には多額の費用が発生すると聞いている。残すべきところと維持管理のためには改善が必要なところを明確にし、無理なく公園を維持できるようにしてもらいたい。
子供が遊べる遊具のスペースやアスレチックの場所はより楽しめるようにしてほしい。
出来る事が出来ない事がわからないので。基本は継続した方がよいかと思っています。
管理コストなどとの兼ね合いもあると思う。 基本的に緑地計画には賛成だが、そればかりを考えるのが果たして良いのか、より発展できる何か案があれば検討すべきではとも考える。
概ね今の洞峰公園に満足しているが、カフェ等の休憩施設が欲しい。
正直興味がない
今の現状のまま維持できて、サービスや管理の質がおちないなら方針の転換は必要ないが そうでないなら基本方針を考え直したほうが良いと思う
近隣だけでなく遠方からでも利用しやすく過ごしやすい公園にしていってほしいので、基本方針も大事ですが、未来を見据えて変えていくところあっていいと思うからです。
議論するべき
自然は残しつつ、必要に応じて変えていくことも検討する必要があると思います。

基本方針にとらわれず、住民のニーズに沿う方向を検討するべき。 利用者が増えないと公園の維持、存続は難しいと考えるから。 個人としては、洞峰公園を存続する事を望むから。
このような基本方針に関する意見聴取は、茨城県庁がパークPFIの導入検討を始め、つくば市役所に意向打診があったタイミングなど、より早期に行うべきことである。 うちの市長が申し訳ないことをした。じゃこ天ではないけど、納豆でも大量購入するか。と茨城県庁にお伝え下さい。
見直す見直さないの前にこの3つの方針がそもそも公園を改善するための方針なのか維持する為の方針なのかが不明すぎる。 仮に改善する為の方針であったら項目として少なすぎて改善する気が無さすぎると思うし、維持する為であってもあまり意味がない方針案だと思う。まず何を聞きたいかが不明すぎる。
近年造成した宅地は緑が少ないですし、臨機応変に対応すればよいと思います。
ある程度の景観があれば特にこだわりはないです。
時代は代わるのでいつまでも同じにしなくてもよい
二宮地区には昔から店舗が色々あっても駐車場に入れずに諦める事が多く、マンションに住んでいる高齢者の訪問介護では他の路駐車のため許可された範囲に止められずに困ることが度々ありました。公園部分を縮小して大規模駐車場にして混雑や路上駐車を減らして欲しいです。
研究、教育目的と環境保全という割に他の公園との差が分からない。
希望は従来の方針の継続だが、維持管理等に対する予算的な課題がある場合においては柔軟に様々な選択肢を検討して頂きたい。
木々の維持だけでなく、予算面でも維持が必要。いずれも許容だが、環境を維持する場合は利用者からさらなる費用回収が必要。
利用したことがなく、分からないため。
維持費のみかかり財政が負担になるようなら、方針転換は必要だが自然環境の維持が大事なのもわからなくはないから。
つくば市は充分に自然環境に恵まれており、緑地が多いと思うので、特別に環境保全に留意しなくてもいいのではないかと思う。ただ、現在は大気汚染などを考えないといけないので、洞峰公園の緑地は必要なものだとも思う。
基本方針は賛成だが、活気と収益性も重要であるため、柔軟に対応することが大切。その事も基本方針に組み込むことを求める。
以前つくば市に住んでいた時に、子供達とよく遊びに行きました。 緑が豊かで、広々としているため、子供にも大人にもとてもすばらしい環境でした。 財政的に可能なら、今の状況を維持して欲しいと思いますが、そうではない現在、収益はどうしても必要になると思うので、方針の変更も、必要になるとは思います。
自然の景観を維持するのも大事だが、今の時代、積極的に賑わいを作り出していく事も大事だと思います。そのためには民間の力を借りて、事業を行っていく事も大切ではないでしょうか。
既存樹林・樹木を保全することも大切ですが、樹齢が長く枯れかけている樹木や林立している様子、また、葎が沿の多くの面積を覆っていることは必ずしも景観を良くしておらず、むしろ暗さを生み出している点もあり、関係はないかもしれないが治安の悪い話も耳に入ります。必ずしも、「既存樹林・樹木の保全」が「自然環境の保全」「治安の維持」とイコールではないことを念頭に、必要な伐採と新たな植樹も含めて公園の景観・環境を良くしていただけること願っています。また、少し異なる話になりますが、景観という点では夜間の照明を白色から暖色系のものにさせていただけるとだいぶ雰囲気も変わるかなと個人的には思っています。
基本的には継続で良いかと思うのですが、今書かれていることが今後の新たな取り組みを阻害するような事項なのであれば、見直した方が良いと思います。
基本方針を守りながら、もっと魅力あるものにして欲しい。
今までの基本方針を軸としながら、改めて植生保護もつよめに組み込まれた今回の方針も良いと思われるから。今後も公園の自然を楽しみながら体を動かしたいと思う。
基本方針に賛成であり、新しい施設も計画するという考え方です。 つくば市の郊外に住む者としては、あまり恩恵がないという思いもありますが、自由に遊べる土地が少ない中心部の方のために緑豊かな公園を残してほしいと思います。そのうえで野球場の代わりに、中心部では家庭で実施しにくいバーベキュー施設や大型犬を連れて来ることが多い公園ならではのドックランなど要望の高いものを作っても良いと思います。(野球場の必要性は低いと思います。グランピングは必用とされていない気がします。) プールの学校利用は基本的には賛成です。教師の負担を減らすためにタックのコーチの利用や施設のリフォームをしなければならないと思います。
ドウホウ公園は県で管理すべき 市のコストをふやさないでください。良識ある判断をお願いします
基本計画自体が曖昧なので、公園ごとに利用目的に合わせて公園の設計、運用を行えば良い。
環境の恩恵を受けたことがないため、そこに費用を投じることにメリットを感じない

時代の流れに合わせて、変えていくものを変えていったほうが良いと思います。
<p>原点は大切だが、どんなことでも時代や環境、市民の考え方の変化等にも対応しなければならない。</p> <p>一過性の流行を追うことは禁物だが、特に施設はアップデートされるべきである。</p> <p>しかし、緑地については、生態系への配慮や安らぎの場として特に問題が起きていないのであれば継続すべきかもしれない。ただ、方針には関係ないかもしれないが、ムクドリ（やシラサギ？）の鳴き声や糞の問題が今も発生しているのであれば、その対応をどう取り扱うべきか、自然だからと放っておくのか、樹木の伐採や植え替えまで行うのかを検討する必要はあると思う。</p>
<p>何事にも、時代・年代層に代わるニーズに合わせて、都度都度の見直しは必要であり維持管理にとらわれず要望の変化に即しての変化できうるものにしておくべきと考えます。</p> <p>時として、持ち出される基本方針に硬直的にならず、柔軟な考えを取り入れる工夫がほしい。</p>
<p>かなり古いものなのでSDGsや地元のニーズに合わせて必要なら改訂を行うのが適切では。現状維持のために収益を上げる必要があるなら、バランスを取れる案を検討してほしい</p>
あまり関心がないため
<p>40年前の基本方針ですが、時代が移ると人口構成やニーズも変わってくる。その方針を維持しつつも、新しいことに目を向けることも大切。</p>
<p>税金で維持しているのであれば、樹木の剪定、選定し、普通の樹木は（山ぼうしやどんぐり系など）伐採し、明るい環境にする。少しくっそうとしている。伐採樹木の再利用や物品を販売する。（プレミアムをプラスして）ふるさと納税商品に力を入れる。</p>
わざわざ借金を背負うようなので反対
より良い方針があれば見直しても良いと考える
よくわからない
これまでの景観を残しつつも新しいものも見てみたい